



平成25年度 全国の戦災の追悼施設・追悼式

九州・沖縄



平成25年11月

平成25年度
全国の戦災の追悼施設・追悼式

九州・沖縄

平成25年11月



福岡県 北九州市 「戦災殉難者之碑」



佐賀県 鳥栖市 「鳥栖電力区戦没者慰霊祭」

※写真提供 J R九州鳥栖電力区



長崎県 佐世保市 「鎮魂慰霊平和祈願の塔」



大分県 大分市 「ムッチャン平和像」



熊本県 熊本市 「熊本平和祈念碑慰霊祭」



宮崎県 延岡市 「延岡空襲殉難慰霊祭」



鹿児島県 鹿児島市 「鹿児島市立女子興業学校 慰霊祭」

平成25年度 全国の戦災の追悼施設・追悼式



沖縄県 那覇市 「小桜の塔」

趣 旨

この報告書は、戦争を知らない若い世代の方々に、自分の街にも空襲があったということを知っていただき、機会があれば訪れる際の案内として使えるように、どなたでも訪ねることのできる追悼施設、どなたでも参加することのできる追悼式を対象に、平成２５年度の総務省の委託事業として弊社が行ったものです。

今年度は九州・沖縄地区を調査対象として実施いたしました。

本書は先の大戦における空襲や艦砲射撃等による民間人犠牲者（一般戦災死没者）に関する追悼施設、追悼式を掲載対象としております。但し、地上戦の行われた沖縄に関しましては、戦没者、戦災犠牲者の区別が付け難い追悼施設、追悼式が数多く存在しているため、「沖縄戦」という括りで、代表的な事例を紹介しております。

この報告書を契機として、追悼施設や追悼式に込められた深い悲しみに思いを致していただければと、考えております。

最後になりましたが、本書の調査、編集に当たってご協力いただいた皆様に、深く感謝いたします。

株式会社NHKグローバルメディアサービス

- 当報告書は、九州・沖縄地区の空襲や艦砲射撃等の戦災に関係する主な追悼施設、追悼式を掲載しています。
（「戦没者」との合同形式も含みます）
- 沖縄県に関しては、疎開船に乗船し、魚雷等の攻撃により、命を落とされた方々や沖縄戦の民間人犠牲者の追悼施設も掲載しています。
- 学校・企業・個人の敷地内にあり、入場に制限がある追悼施設に関しては基本的に掲載を見合わせています。
- 追悼式に関しては、開催時期、開催主旨、参列条件、情報不足等の理由により、掲載できなかったものもあります。
- 客観性、公平性を保つため、追悼施設に関しては、所在地や建立年等の事実関係を記した基本情報と碑文の掲載のみに止めています。
また、慰霊碑等に「説明文（板）」が付属する場合は併せて掲載しています。
なお、碑文、説明文による情報がない、または少ない場合は、関係資料等に記載されているものを「経緯」として掲載しています。
- 追悼式に関しては、主催者、関係者から提供を受けた式次第、式辞または挨拶文を基本的に原文のまま掲載しています。
- 追悼施設、追悼式の連絡先に関しては、当報告書の発行時のものを掲載しています。
建立者、管理者、主催者の確認が得られなかったものや連絡先が個人宅の場合は掲載を見合わせています。
- 当報告書の調査、編集は、平成25年6月より同年11月末に行われました。

※ 掲載写真の無断複写、複製、転載を禁じます。

目 次

九州・沖縄	1
福岡県	3
北九州市 門司区	1 門司区戦没者追悼式
小倉北区・小倉南区	2 小倉北区・南区合同戦没者追悼式
若松区	3 若松区戦没者追悼式
八幡東区	4 皿倉山 八文字焼
	5 戦災殉難者之碑
	6 慰霊塔
八幡東区・八幡西区	7 八幡東区・西区合同戦没者追悼式
戸畑区	8 戸畑区戦没者追悼式
福岡市 東区	9 洲崎地蔵尊
博多区	10 戦災記念碑
	11 福岡市戦災引揚死没者追悼式
	12 戦災地蔵
	13 戦災地蔵尊
	14 戦災地蔵菩薩
	15 戦災地蔵尊
	16 川端飢人地蔵尊
中央区	17 福岡市戦没者合同追悼式
	18 戦災復興記念群像
	19 戦災死者供養塔
	20 無縁仏地蔵尊
西区	21 じゅうご地蔵
大牟田市	22 大牟田空襲の碑
	23 藤田町 被爆戦没者之碑
久留米市	24 戦災死者之霊碑
	25 久留米空襲戦災死者慰霊式
朝倉市	26 一ツ木延命地蔵菩薩
朝倉郡 筑前町	27 3・27 平和の碑のつどい
	28 筑前町戦没者追悼式
	29 大刀洗空襲慰霊供養

佐賀県	63	
佐賀市	1 記念碑「B29 空爆焦土」	64
鳥栖市	2 頌魂碑	66
	3 鳥栖電力区戦没者慰霊祭	68

長崎県	71	
佐世保市	1 鎮魂慰霊平和祈願の塔	72
	2 佐世保空襲死没者追悼式	74
島原市	3 島原市戦没者追悼式	76
	4 殉国者慰霊塔	78
東彼杵郡 川棚町	5 無縁者之墓	80

熊 本 県		83
熊本市 中央区	1 熊本平和祈念之碑	84
	2 熊本平和祈念碑慰霊祭	86
荒尾市	3 慰霊塔	88
	4 荒尾市戦没者追悼式	90
水俣市	5 水俣市戦没者追悼式	92

大分県	95	
大分市	1 ムッチャン平和像	96
	2 ムッチャン平和祭	98
	3 平和の礎	100
津久見市	4 戦没学徒慰霊碑	102
	5 保戸島国民学校戦災殉難者追善法要	104
速見郡 日出町	6 小田三郎先生をしのぶ	106

宮崎県	109	
宮崎市	1 天神山の戦災者慰霊碑	110
	2 宮崎市戦災死没者慰霊祭	112
都城市	3 都城空襲犠牲者追悼碑	114
	4 都城空襲犠牲者追悼会	116
	5 都城市戦没者・空襲犠牲者合同追悼式	118
延岡市	6 延岡市戦没者合同慰霊祭	120
	7 太平洋戦争延岡空襲殉難碑	122
	8 延岡空襲殉難慰霊祭	124
	9 命の橋	126
日南市	10 日南市戦没者追悼式	128

鹿児島県	131	
鹿児島市	1 太平洋戦争民間犠牲者慰霊碑「人間之碑」	132
	2 太平洋戦争民間犠牲者慰霊碑「人間之碑」への献花	134
	3 鹿児島市立女子興業学校の碑	136
	4 鹿児島市立女子興業学校 慰霊祭	138
	5 広馬場通り戦災鎮魂慰霊の碑	140
	6 広馬場通り戦災鎮魂慰霊祭	142
	7 慰霊碑	144
西之表市	8 慰霊塔	146
	9 西之表市戦没者追悼式	148

沖 縄 県	151	
那覇市	1 恒久平和モニュメント「なぐやけ」	152
	2 なぐやけの碑 慰霊祭	154
	3 海鳴りの像	156
	4 小桜の塔	157

長崎原爆関連		159
長崎県 長崎市	1 長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典	160
	2 平和祈念像	162
	3 平和の泉	163
	4 戦災復興記念	164
	5 長崎の鐘	165
	6 原子爆弾落下中心地碑	166
	7 平和を祈る子の像	167
	8 浦上天主堂遺壁	168
	9 原爆殉難教え子と教師の像	169
	10 平和公園マップ	170

沖縄戦関連		171
沖縄県 糸満市	1 沖縄全戦没者追悼式	172
	2 平和の礎	174
	3 しづたまの碑	175
	4 沖縄工業健児之塔	176
	5 沖縄師範健児之塔	177
	6 平和祈念公園マップ	178
	7 魂魄の塔	179
	8 開南健児之塔	180
	9 ずみせんの塔	181
	10 梯梧之塔	182
	11 ひめゆりの塔	183
	12 白梅之塔	184
	13 翔洋碑	185
那覇市	14 一中健児之塔	186
	15 二中健児の塔	187
	16 積徳高等女学校慰霊之碑	188
	17 和魂の塔	189
嘉手納町	18 農林健児之塔	190
名護市	19 南橙慰霊之塔	191
石垣市	20 八重山戦争マラリア犠牲者慰霊之碑	192
竹富町	21 忘勿石の碑	193

九州・沖縄

福岡県

1 門司区戦没者追悼式



※写真提供 北九州市

開催概要（平成25年度）

歳事名：門司区戦没者追悼式 ※一般戦災死没者を含む
 会場：門司市民会館
 住所：福岡県北九州市門司区老松町3-2
 （JR門司港駅 徒歩15分）
 日時：平成25年5月15日（水） ※例年5月中旬開催
 参列者数：400人
 連絡先：北九州市 門司区役所 総務企画課 093-331-1881（代表）

式次第（平成25年度）

1. 開式のことば
2. 国歌斉唱
3. 黙とう
4. 追悼のことば…市長、議長、福岡県遺族連合会会長及び門司区遺族連合会会長
5. 献花
6. 閉式のことば

追悼のことば（平成25年度）

本日、ご遺族をはじめ、関係の皆様が多数ご臨席される中、門司区戦没者追悼式が執り行われるにあたり、戦没者の御霊に対し、謹んで哀悼の誠を捧げます。

先の戦争では、激しい戦いの中、祖国を遠く離れた異郷の地で、多くの方が、家族に思いを馳せつつ、尊い生命を犠牲にされました。

また、ここ門司の地には、国内はもとより、海外への門戸となった重要な港「門司港」があり、物資の流通を担っていたために爆撃を受け、多くの方が犠牲となりました。さらに、関門海峡を封鎖するため、多くの機雷が投下され、海峡は海の墓場と化したのです。

祖国への帰還が果たせなかった方々の無念や、空襲の犠牲になられた方の苦しみ、また、残されたご遺族の消えることのない深い悲しみを拝察するとき、誠に痛恨極まりなく、悲痛な思いが胸に込み上げてまいります。

北九州市は、世界でも例のない五市の対等合併によって発足し、深刻な公害問題や産業構造の変化など、様々な困難を乗り越え、今年2月に市制50周年を迎えました。

昭和4年から、門司港を見つめ続けてきた旧大連航路上屋は、門司港の繁栄の歴史を象徴するもので、観光交流拠点として、新たな船出を待っています。また、門司港を臨む老松公園内に慰霊塔が建立され、戦争の犠牲となられた多くの方々の慰霊が行われています。昭和33年に建立された世界平和バゴダでは、戦没者を慰霊するとともに、世界平和が祈られています。

私たちは、今日の輝かしい発展が、戦後を支えていただいた皆様の、計り知れない努力の上に築かれているものであることを、決して忘れてはならないと思います。本市では、平和の大切さを広く後世に伝えるため、南九州市との連携による知覧特攻平和会館北九州展を、8月にイノベーションギャラリーで開催する予定です。

熾烈を極めた先の大戦が終わって68年もの歳月が流れ、国民の4人に3人以上が戦後生まれとなりました。本市は、長崎に投下された原子爆弾の第一目標であったことを重く受け止め、戦争の悲惨さを次の世代に伝えるため、平成22年に北九州市非核平和都市宣言を行いました。また、平和への願いが込められた「嘉代子桜・親子桜」を市内の小学校に植樹する取り組みを続け、今年、全市立小学校への植樹を終える予定です。戦争の惨禍の記憶を風化させることなく、次の世代に語り継ぎ、恒久平和の実現に向けて、不断的努力を続けていくことを固くお誓いします。

結びに、戦没者の皆様の安らかなご冥福と、ご列席のご遺族の皆様のご平安をお祈り申し上げて、追悼のことばといたします。

平成25年5月15日
 北九州市長 北橋 健治

2 小倉北区・南区合同戦没者追悼式



※写真提供 北九州市

開催概要（平成25年度）

歳事名：小倉北区・南区合同戦没者追悼式 ※一般戦災死没者を含む
会場：北九州芸術劇場 大ホール
住所：福岡県北九州市小倉北区室町1-1-1-11
(JR西小倉駅 徒歩3分)
日時：平成25年5月7日（火） ※例年5月7日開催
参列者数：約1,000人
連絡先：北九州市 小倉南区役所 総務企画課 093-951-4111（代表）

式次第（平成25年度）

1. 開式のことば
2. 国歌斉唱
3. 黙とう
4. 追悼のことば…北九州市長、北九州市議会議長、福岡県遺族連合会会長、小倉南北区遺族連合会会長
5. 献花…北九州市長、北九州市議会議長、福岡県遺族連合会会長、小倉南北区遺族連合会会長
各区遺族連合会会長、来賓
6. 献詠
7. 閉式のことば

追悼のことば（平成25年度）

本日、ご遺族をはじめ、関係の皆様が多数ご臨席される中、小倉北区・南区合同戦没者追悼式が執り行われるにあたり、戦没者の御霊に対し、謹んで哀悼の誠を捧げます。

先の戦争では、多くの方々が戦地に向かい、祖国を思い、家族を案じつつ、戦禍に倒れ、遠い異郷の地でその尊い生命を犠牲にされました。また、国内におきましても、激しい空襲により、年齢、男女の別なく尊い命が失われました。

ここ、小倉の地は、軍の造兵廠や関連工場が集積していたことから、度重なる空襲にさらされ、多くの方々が犠牲となりました。

祖国への帰還が果たせなかった方々の無念や、空襲による猛火に包まれ、痛ましくも犠牲になられた方の苦しみ、また、残されたご遺族の消えることのない深い悲しみを拝察するとき、誠に痛恨極まりなく、悲痛な思いが胸に込み上げてまいります。

北九州市は、世界でも例のない五市の対等合併によって発足し、深刻な公害問題や産業構造の変化など、様々な困難を乗り越え、今年2月に市制50周年を迎えました。しかしながら、この発展は、戦後を支えていただいた皆様の、計り知れない努力の上に築かれているものであることを、私たちは決して忘れてはならないと思います。この節目となる年に、本市では、平和の大切さを広く後世に伝えるため、南九州市との連携による知覧特攻平和会館北九州展を、8月に開催する予定です。

熾烈を極めた先の大戦が終わって68年もの歳月が流れ、国民の4人に3人以上が戦後生まれとなりました。北九州市は、長崎に投下された原子爆弾の第一目標であったという事実を重く受け止め、戦争の悲惨さを次の世代に伝えるため、平成22年に北九州市非核平和都市宣言を行いました。また、平和への願いが込められた「嘉代子桜・親子桜」を市内の小学校に植樹する取り組みを続け、今年、全市立小学校への植樹を終える予定です。戦争の惨禍の記憶を風化させることなく、次の世代に語り継ぎ、恒久平和の実現に向けて、不断の努力を続けていくことを固くお誓いします。

結びに、戦没者の皆様の安らかなご冥福と、ご列席のご遺族の皆様のご平安をお祈り申し上げて、追悼のことばといたします。

平成25年5月7日
北九州市長 北橋 健治

3 若松区戦没者追悼式



※写真提供 北九州市

開催概要（平成25年度）

歳事名：若松区戦没者追悼式 ※一般戦災死没者を含む
会場：若松市民会館
住所：福岡県北九州市若松区本町3-13-1
(JR若松駅 徒歩3分)
日時：平成25年10月24日(木) ※例年10月下旬開催
参列者数：約500人
連絡先：北九州市 若松区役所 総務企画課 広報広聴係 093-761-5321 (代表)

式次第（平成25年度）

1. 開式のことば
2. 国歌斉唱
3. 黙とう
4. 追悼のことば
5. 献花
6. 献奏
7. 献詠
8. 閉式のことば

追悼のことば（平成25年度）

本日、ご遺族をはじめ、関係の皆様が多数ご臨席される中、若松区戦没者追悼式が執り行われるにあたり、戦没者の御霊に対し、慎んで哀悼の誠を捧げます。

先の大戦では、多くの方々が、家族のため、祖国のために戦い、その尊い命を犠牲にされました。また、激しい空襲により、年齢、男女の別なく尊い命が奪われました。

ここ若松の地におきましても、昭和19年6月16日に九州で最初の空襲を受け、その後の数次にわたる爆撃機の来襲により、多くのかけがえのない人命が失われました。

空襲による猛火に包まれ、痛ましくも犠牲となられた方々の苦しみ、祖国への帰還が果たせなかった方々の無念や、最愛の肉親を失われたご遺族の深い悲しみを拝察するとき、誠に痛恨極まりなく、悲痛な思いが胸に迫ってまいります。

高塔山公園には、忠霊塔が建立されています。これは、戦争が終わって十年となる頃、市民の皆様の中に、戦争犠牲者に対する追悼や、世界平和への想いが広まったことから、募金を集め、昭和32年に建立されたものです。私もお参りさせていただき、当時の若松市民の皆様のお亡くなりになった方々への追悼への想い、平和への願いが伝わってまいりました。

戦後68年が過ぎ去り、戦争を知らない世代が増えてまいりましたが、戦争の惨禍の記憶を広く後世に伝え、恒久平和を祈念することは、我々の責務であります。

本市は、長崎に投下された原子爆弾の第一目標であったことを重く受け止め、戦争の悲惨さを次の世代に伝えるため、平成22年に非核平和都市宣言を行いました。今年8月には、市制50周年を記念して、「知覧特攻平和会館 北九州展」をイノベーションギャラリーで開催し、大変多くの方にご来場いただき、知覧特攻平和会館が所有している戦艦機の実物のプロペラや操縦席のレプリカなどを広く紹介することができました。また、平和への願いが込められた「嘉代子桜・親子桜」を市内の小学校に植樹する取り組みを続け、今年、全市立小学校への植樹を終える予定です。

今日の平和と繁栄は、戦争によって命を落とされた方々の尊い犠牲の上に築かれたものであることを、私たちは決して忘れず、戦争のない平和な世界の実現に向けて、不断の努力をお誓いいたします。

結びに、戦没者の皆様のご冥福と、ご列席のご遺族の皆様のご平安をお祈り申し上げて、追悼のことばといたします。

平成25年10月24日
北九州市長 北橋 健治

4 皿倉山 八文字焼



※写真提供 八幡東区

開催概要（平成25年度）

歳事名：皿倉山 八文字焼

会場：帆柱自然公園

住所：福岡県北九州市八幡東区大字尾倉（皿倉山9合目付近）

日時：平成25年8月8日（木）、13（火）、14日（水）、15日（木）

※例年8月8日及び8月13日、14日、15日開催

参列者数：_____

連絡先：北九州市 八幡東区役所 まちづくり整備課 093-671-0801（代表）

趣 旨

昭和20年8月8日の八幡大空襲による戦没者の慰霊のため、
また八幡の平和のシンボルとして実施している。

出典：「北九州市 八幡東区ホームページ」より

概 要

例年、8月8日及び8月13日、14日、15日の4日間、皿倉山
9合目付近に電球を「八」の形状に設置し、19：30～22：00
の間点灯している。

5 戦災殉難者之碑



基本情報

所 在：谷口霊園
住 所：福岡県北九州市八幡東区高見3-7
(JR八幡駅より 西鉄バス「七条」下車 徒歩15分)
建 立 者：八幡市
建 立 年：昭和30年8月8日(昭和60年3月改修)
連 絡 先：北九州市 八幡東区役所 まちづくり整備課 093-671-0801(代表)

碑 文

【表】

戦災殉難者之碑

【裏】

ここに祭る千八百余柱の霊は昭和二十年八月八日鉄都大空爆の嵐にあえなくも散った尊い殉難の人たちである
過ぐる日の苦難を省み、明るい未来を指す者の、これら犠牲の人の身に弔慰の涙そそぐは、この國に再びかかる惨禍なきを願う万人の愛と祈りの心である。

この祈りもて、われら真に幸福な世代の建設に立ち上る市民のために、この碑を建てる

昭和三十年八月八日
八幡市長 守田道隆

由 来

慰霊碑建立の由来

この慰霊碑 建立にあたっては当時
槻田地区在住の文化団体八幡自由人
クラブの人達が碑文に記された願いを
こめてこれを発議し熱意のある運動の
結果実現したものである

なお慰霊碑の老朽化にともない
昭和60年3月改修工事が行われた

6 慰霊塔



基本情報

所 在：小伊藤山公園
住 所：福岡県北九州市八幡東区尾倉2-8
(JR八幡駅 徒歩5分)
建 立 者：八幡市
建 立 年：昭和27年
連 絡 先：北九州市 八幡東区役所 まちづくり整備課 093-671-0801 (代表)

碑 文

【表】

慰霊塔

説 明 文

この地一帯は、丘陵地で小伊藤山と呼ばれ、その麓まで家屋が建ち並んでいた。太平洋戦争となり北から南から、また西から、防空壕が築造された。昭和二十年八月八日午前十時、米空軍による焼夷弾攻撃で、附近一帯は焼野原となり、この防空壕に避難した人々は、火煙に包まれ全員窒息死した。その数三百人といはれている。戦災復興区画整理事業により、この地を公園とし、戦災死者を追悼するため、昭和二十七年慰霊塔を建立した。

7 八幡東区・西区合同戦没者追悼式



※写真提供 北九州市

開催概要（平成25年度）

歳事名：八幡東区・西区合同戦没者追悼式 ※一般戦災死没者を含む
 会場：八幡市民会館
 住所：福岡県北九州市八幡東区尾倉2-6-5
 （JR八幡駅 徒歩7分）
 日時：平成25年10月10日（木） ※例年10月初旬開催
 参加者数：約500人
 連絡先：北九州市 八幡西区役所 総務企画課 093-642-1441（代表）
 ※毎年、八幡東区と八幡西区で持ち回り開催

式次第（平成25年度）

1. 開式のことば
1. 国歌斉唱
1. 黙とう
1. 追悼のことば…北九州市長、北九州市市議会副議長、福岡県遺族連合会会長、八幡西区遺族連合会会長
1. 献花…北九州市長、北九州市市議会副議長、福岡県遺族連合会会長、各区遺族連合会会長、
遺族代表、来賓、八幡東区長・八幡西区長
1. 献詠…河野鶴聲
1. 謝辞…八幡東区遺族連合会長
1. 閉式のことば

追悼のことば（平成25年度）

本日、ご遺族をはじめ、関係の皆様が多数ご臨席される中、八幡東・西区合同戦没者追悼式が執り行われるにあたり、戦没者の御霊に対し、慎んで哀悼の誠を捧げます。

先の大戦では、多くの方が、家族のため、祖国のために戦い、その尊い命を犠牲にされました。また、激しい空襲により、年齢、男女の別なく尊い命が失われました。

なかでも、ここ八幡地区は、八幡製鉄所を有していたことから、幾度となく空襲を受けており、特に、昭和20年8月8日には、約120機ものB29爆撃機が来襲し、火の雨のように降る焼夷弾で、約2,500人の方が死傷し、市街地の大半を焼失しました。八幡東区の谷口霊園には、当時の空襲で亡くなられた約1,800柱の御霊を慰霊するため、「八幡大空襲戦災殉難者の碑」が、小伊藤山には、その待避壕の中で犠牲となった約300人の方への慰霊塔が建立されております。

また、八幡西区の大膳には、B29爆撃機に体当たりした兵士の功績を称えた「体当たり勇士の碑」が建てられ、御霊のご冥福と、平和が祈り続けてこられました。

今年8月には、市制50周年を記念して、「知覧特攻平和会館 北九州展」をイノベーションギャラリーで開催し、大変多くの方にご来場いただき、知覧特攻平和会館が所有している戦闘機の実物のプロペラや操縦席のレプリカなどとあわせて、八幡の大空襲や八幡西区の「体当たり勇士の碑」を広く紹介することができました。

戦後、68年が経過し、戦争を知らない世代が増えてまいりました。戦争の惨禍の記憶を広く後世に伝え、恒久平和を祈念することは、我々の責務であります。本市は、長崎に投下された原子爆弾の第一目標であったことを重く受け止め、戦争の悲惨さを次の世代に伝えるため、平成22年に非核平和都市宣言を行いました。また、平和への願いが込められた「嘉代子桜・親子桜」を市内の小学校に植樹する取り組みを続け、今年、全市立小学校への植樹を終える予定です。

今日の平和と繁栄は、戦争によって命を落とされた方々の尊い犠牲の上に築かれたものであることを、私たちは決して忘れてはならないと思います。平和な世界の実現に向けて、不断的努力をお誓いいたします。

結びに、戦没者の皆様のご冥福と、ご列席のご遺族の皆様のご平安をお祈り申し上げて、追悼のことばといたします。

平成25年10月10日
 北九州市長 北橋 健治

8 戸畑区戦没者追悼式



※写真提供 北九州市

開催概要（平成25年度）

歳事名：戸畑区戦没者追悼式 ※一般戦災死没者を含む
 会場：北九州市立戸畑市民会館 中ホール
 住所：福岡県北九州市戸畑区汐井町1-6
 （JR戸畑駅 徒歩1分）
 日時：平成25年10月17日（木） ※例年10月中旬開催
 参列者数：151人
 連絡先：北九州市 戸畑区役所 総務企画課 広報広聴係 093-881-0039（直通）

式次第（平成25年度）

1. 開 式
2. 国 歌 斉 唱
3. 黙 と う
4. 追 悼 の こ と ば
5. 献 花
6. 献 舞
7. 閉 式

追悼のことば（平成25年度）

本日、ご遺族をはじめ、関係の皆様が多数ご臨席される中、戸畑区戦没者追悼式が執り行われるにあたり、戦没者の御霊に対し、慎んで哀悼の誠を捧げます。

先の大戦では、多くの方々が、家族のため、祖国のために戦い、その尊い命を犠牲にされました。また、激しい空襲により、年齢、男女の別なく尊い命が失われました。

この戸畑地区におきましても、昭和19年6月16日、九州で最初の爆撃を受け、その後の数次にわたる爆撃機の来襲により、多くのかけがえのない人命が失われました。

空襲の犠牲となられた皆様、遠い戦地から祖国への無事の帰還が果たせなかった皆様、最愛の肉親を失われたご遺族の皆様の中に思いを馳せるとき、深い悲しみと痛恨の情が切々と胸に迫ってまいります。

戸畑区出身の「宗 左近」という詩人・フランス文学者がいらっしゃいます。東京大空襲の火の海の中で、一緒に逃げ惑う母親の手を離してしまったばかりに、眼前で母親を失った断罪の意識から、『母よ あなたにこの一巻を これは あなたが 炎となって 炎やすい紙でつくった あなたの墓です そして わたしの墓です 生きながら 葬るための 墓です 炎えやまない あなたとわたしを もろともに 母よ』という長編詩集、「炎える母」を昭和42年に発表し、第6回藤村記念歴程賞を受賞しました。故郷への愛着が深かった宗氏の自筆原稿等の資料が、北九州市に寄贈されています。

戦後68年が過ぎ去り、戦争を知らない世代が増えてまいりましたが、戦争の惨禍の記憶を広く後世に伝え、恒久平和を祈念することは、我々の責務であります。

本市は、長崎に投下された原子爆弾の第一目標であったことを重く受け止め、戦争の悲惨さを次の世代に伝えるため、平成22年に非核平和都市宣言を行いました。今年8月には、市制50周年を記念して、「知覧特攻平和会館 北九州展」をイノベーションギャラリーで開催し、大変多くの方にご来場いただき、知覧特攻平和会館が所有している戦闘機の実物のプロペラや操縦席のレプリカなどを広く紹介することができました。また、平和への願いが込められた「嘉代子桜・親子桜」を市内の小学校に植樹する取り組みを続け、今年、全市立小学校への植樹を終える予定です。

今日の平和と繁栄は、戦争によって命を落とされた方々の尊い犠牲の上に築かれたものであることを、私たちは決して忘れず、戦争のない平和な世界の実現に向けて、不断の努力をお誓いいたします。

結びに、戦没者の皆様の安らかなご冥福と、ご列席のご遺族の皆様のご平安をお祈り申し上げて、追悼のことばといたします。

平成25年10月17日
 北九州市長 北橋 健治

9 洲崎地藏尊



基本情報

所 在：宗玖寺
住 所：福岡県福岡市東区馬出4-1-11
(福岡地下鉄 馬出九大病院前駅 徒歩5分)
建 立 者：石村萬盛堂 石村前社長
建 立 年：昭和20年代
連 絡 先：宗玖寺 092-651-4396

碑 文

【表】

洲崎地藏尊

説 明 文

洲崎地藏尊縁起

大東亜戦争の悲報に到る昭和廿年六月十九日午後九時突如として福岡市は米軍機 B29 の空襲をうけ一瞬にして火の海と化した。その中で最も被害の甚大であつた此の周辺で懐かしい肉親や近隣の人々の尊い御魂が数多く失われた。私共は今等不幸な方々の上に深く同情を致し併せて当町出身の戦歿英霊をも迎え其の数五十有柱こゝに供養の碑を建立し名づけて洲崎地藏尊と呼び是等の尊い犠牲をして無意義たらしめぬようこころしてその御霊を慰めるのと共に人類永遠の平和を郷土守護の礎たれとの祈りをこむるものである。請ひ願わくば有縁無縁行きずりの人よ一掬の涙を持って合掌を手向け賜わんことを。

10 戦災記念碑



基本情報

所 在： 冷泉公園
住 所： 福岡県福岡市博多区上川端町7
(福岡市地下鉄 中洲川端駅 徒歩3分)
建 立 者： 福岡市戦災死没者慰霊塔建設委員会
建 立 年： 昭和40年6月19日
連 絡 先： 福岡市社会福祉協議会 総務課 092-751-1121

碑 文

【表】

戦災記念碑

【裏】

戦災死没者の慰霊と
平和への祈りをこめて
昭和四十年六月十九日建立

11 福岡市戦災引揚死没者追悼式



開催概要（平成25年度）

歳事名：福岡市戦災引揚死没者追悼式
 会場：冷泉公園内 戦災記念碑前
 住所：福岡県福岡市博多区上川端町7
 （福岡市営地下鉄 中洲川端駅 徒歩4分）
 日時：平成25年6月19日（水） ※例年6月19日開催
 参列者数：250人
 連絡先：福岡市社会福祉協議会 総務課 092-751-1121

式次第（平成25年度）

1. 開式のことば
2. 黙 祷
3. 主催者式辞
4. 来賓追悼のことば…市長、市議会議長
5. 電文拝読
6. 献 花
7. 遺族代表謝辞
8. 閉式のことば

謝 辞（平成25年度）

遺族を代表いたしまして、一言お礼の言葉を申し上げます。

本日は、「平成25年度福岡市戦災引揚死没者追悼式」が、多くの方々のご参列のもとに、厳粛に執り行われましたことを深く感謝申し上げます。

あの忌まわしい戦災の日から、68年という長い歳月が経ちました。福岡大空襲の、あの悲惨な夜を思い出すたび、今でも辛く、悲しく、胸が張り裂ける思いで一杯でございます。私は、当時6歳で被災し、ともに避難していた祖母、姉、二人の妹、そして臨月の母を空襲で失いました。その悲惨な光景は今もなお鮮明にまぶたに焼け付き、その時の悲しみ、苦しみの記憶は、時が経っても色あせることはありません。

また、日本を遠く離れた異境の地から引き揚げる途中、再び祖国の土を踏むことなく、多くの方々が無念の最期を遂げられました。私も、姉が引き揚げ途中に亡くなりましたが、他のご遺族の方々のご心中に思いを致しますと、悲しみと哀惜の念、新たなるものがございます。

戦後、残された遺族は、力を合わせて立ち上がり、かけがえのない肉親を奪われた深い悲しみを乗り越えながら、助け合い、生き抜いてまいりました。

現在、戦争を知らない世代がその大方を占める時代へと移り変わってきておりますが、今日のこの平和で豊かな日本は、多くの犠牲の上に築かれたのだということを忘れてはなりません。

本日の式典に臨み、私たちは、二度とあの悲しく、愚かな歴史を繰り返さないとの決意を新たに、先の戦争から学んだ多くの教訓を風化させることなく、後世にしっかり語り継いでいくことをここに固くお誓いいたします。

最後に、ご多忙中にもかかわらず、ご参列いただきましたご来賓の方々、そして地域の方々や博多小学校の皆様に対しまして、心からお礼を申し上げ、簡単ではございますが遺族を代表しての謝辞といたします。

平成25年6月19日
 遺族代表 樋口 泰助

12 戦災地蔵



基本情報

所 在：沖濱稻荷神社
住 所：福岡県福岡市博多区古門戸町3-8
(福岡市地下鉄 中洲川端駅 徒歩5分)
建 立 者：不明
建 立 年：昭和25年6月19日(平成3年9月24日再建)
連 絡 先：沖濱稻荷神社責任役員 株式会社フチカ 092-281-4445

碑 文

【台座正面・右】

戦災地蔵

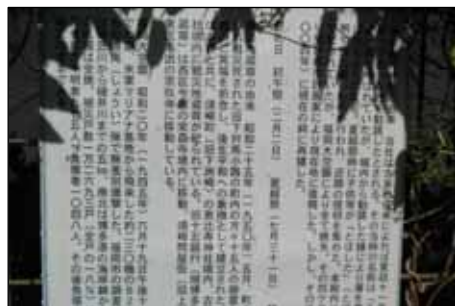
【左】

世話人
(個人名)

【裏】

昭和二十五年
六月十九日建立

13 戦災地蔵尊



基本情報

所 在：黒田神社
住 所：福岡県福岡市博多区須崎町13-25
(福岡市地下鉄 中洲川端駅 徒歩8分)
建 立 者：戦災犠牲者遺族
建 立 年：昭和25年5月
連 絡 先：個人であり記載せず

碑 文

【台座正面】

戦災地蔵尊

【台座右】

戦死者

(故人名)

説 明 文

戦災地蔵尊の由来 昭和二十五年（一九五〇年）五月、町内の方々により福岡大空襲で犠牲となられ戦災死された旧下対馬小路の町内の方々十五人の御霊と、当町出身の戦死者の方々四人の御霊のご冥福を祈念し、後生平和への象徴として建立された。旧奈良屋校地区（死者三〇八人）には本尊と共に、須崎町（旧下洲崎）の恵比寿神社境内、古門戸町（旧中対馬小路）の沖濱稲荷神社境内に戦災地蔵尊が祀られている。旧十五銀行（現博多座）での犠牲者を祀った「じゅうご地蔵尊」は西区今宿の栄昌寺境内に移動、須崎問屋街（旧上須崎町）入口東側の「須崎地蔵尊」は東区馬出の宗玖寺に移動している。

14 戦災地藏菩薩



基本情報

所 在：須ヶ崎恵比須神社
住 所：福岡県福岡市博多区須崎町13-8
(福岡市地下鉄 中洲川端駅 徒歩8分)
建 立 者：一の組婦人会員一同
建 立 年：昭和26年5月
連 絡 先：個人であり記載せず

碑 文

【台座・表】

戦災地藏菩薩

【台座右面】

(故人名)

【台座左面】

昭和廿年六月十九日空襲に依り当町内
戦災殉難者の霊を慰め茲に地藏菩薩を建立する
昭和廿六年五月
発起人 新森、沢田、近藤、古本、米倉、大家外
一の組婦人会員一同

説明文

戦災地藏菩薩由来

昭和十二年支那事変勃発より
同二十年八月十五日御聖断に
より終戦となるその間当町出
身の戦死者の霊十九柱 又同
二十年六月十九日の大空襲に
より全市一瞬にして廃墟とな
るその火災の中に最後迄郷土
を守り痛ましくも戦災死され
た町内の方々五十九人の霊を
慰むるために昭和二十六年五
月町の聖地に地藏菩薩像を建
立し国家郷土のため犠牲とな
られし尊い御霊の御冥福を永
遠に祈念申上げるとともに後
世平和への誓を新たにす
る象徴とし信仰の誠を捧ぐる次
第であります

昭和四十年六月十九日
殉難二十周年
下洲崎町
例祭日 六月十九日
八月二十四日

15 戦災地藏尊



基本情報

所 在： 西方寺
住 所： 福岡県福岡市博多区奈良屋町10-11
(福岡市地下鉄 呉服町駅 徒歩8分)
建 立 者： 不明
建 立 年： 昭和25年
連 絡 先： 西方寺 092-291-1228

碑 文

【表】

古門戸町

(故人名)

経 緯

昭和通り博多五町信号、バス停から北側に約二〇〇メートル入ったところにある。浄土宗西方寺の北条氏の家紋の入った大扉の山門をくぐると、右手に小さな地藏堂がある。大小二体のお地藏さんが立っている

が、右側の小さい方が戦災地藏尊で、昭和二十五年建立と彫られている。

住職の話では、戦災死した無縁仏を供養するために祀っているそうだ。刻まれた四人の名前は判読不能だったが、「古門戸町」という文字だけが確認できる。

(後略)

出典：川口勝彦・首藤卓茂著「福岡の戦争遺跡を歩く」（海鳥社）より

16 川端飢人地藏尊



基本情報

所 在：博多ワシントンホテルプラザ隣
住 所：福岡県福岡市博多区中洲2-8-33
(福岡市地下鉄 中洲川端駅 徒歩4分)
建 立 者：不明
建 立 年：昭和20年代
連 絡 先：上川端町地藏組合 個人宅のため記載せず

碑 文

【卒塔婆の文】

南無阿弥陀佛 飢人地藏尊大菩薩 大施餓鬼
享保年間飢餓死之諸精霊並戦死戦災死之諸霊 追福増進菩提

説 明

享保飢饉のときのいわゆる飢人地藏の一つであるが、戦後、戦死者・戦災死者も合わせて供養するようになった。お地藏様の後ろの卒塔婆にその旨が書き込まれており、外からは見えないが、地藏尊の横に入ると読むことができる。

出典：川口勝彦・首藤卓茂著「福岡の戦争遺跡を歩く」（海鳥社）より

17 福岡市戦没者合同追悼式



開催概要（平成25年度）

歳事名：福岡市戦没者合同追悼式 ※一般戦災死没者を含む
 会場：福岡市民会館
 住所：福岡市中央区天神5-1-23
 （福岡市地下鉄 天神駅より 西鉄バス「市民会館前」下車 徒歩4分）
 日時：平成25年6月19日（水） ※例年6月19日開催
 参列者数：400人
 連絡先：福岡市 保健福祉局 総務課 092-711-4493（直通）

式次第（平成25年度）

1. 開式のことば…福岡市保健福祉局長
2. 国家斉唱
3. 黙祷
4. 主催者式辞…福岡市長
5. 来賓追悼のことば…福岡県知事、福岡市議会議長、福岡市遺族会連合会会長、福岡市社会福祉協議会会長
6. 献花
7. 閉式のことば…福岡市保健福祉局理事

式辞（平成25年度）

今日ここに、多数のご遺族をはじめ、ご来賓の方々、市民の皆様にご参列いただき、福岡市戦没者、戦災死没者並びに引揚げ死没者の合同追悼式を執り行うにあたり、主催者を代表いたしまして式辞を申し上げます。

あの激しかった先の大戦では、戦没された方々は、ご家族や祖国の安泰と繁栄を信じ、わが身を顧みず、中国大陆や遠い太平洋、また酷暑、酷寒の地で、祖国の地を思いながら、その尊い命を捧げられました。

また、六十八年前の今日六月十九日、この福岡の町は大空襲に見舞われ、またたく間に火の海と化し、多くの方が犠牲になりました。

さらに、海外からの引揚げの途中、さまざまな苦難に遭われ、祖国の土を踏むことなく亡くなられた方々もたくさんおられます。戦禍の犠牲となられた方々の無念の気持ちを思いますと、胸がしめつけられる思いでございます。改めて、ご冥福をお祈りいたします。

ご遺族の皆様方におかれましては、今なお六十八年前の深い悲しみの気持ちがよみがえってこられることと思います。そして、その後の、言葉では言い尽くせない幾多の困難を乗り越えられながら、険しい道のりを歩んでこられたご遺族の皆様方のご苦労に対し、心より敬意を表します。

私たち福岡市150万の市民は、このような深い悲しみの歴史があったことを決して忘れることなく、後世に語り継いでいくことこそ、今を生きる私たちの責務であると、信じるものであります。

今日、わが国は、平和国家として着実な歩みを続けており、また、世界平和の実現のために果たすべき役割にも、ますます大きな期待が寄せられています。

私は、戦禍の犠牲となられた方々の、祖国の発展への思いを深く心に刻み、恒久平和と人々の幸福、そして私たちのふるさとである福岡市のさらなる発展のために、今後とも全力を尽くしてまいります。

結びに、御霊が永遠に安らかであるようお祈りいたしますとともに、ご遺族の皆様方のご健勝とご多幸を心から祈念いたしまして、式辞といたします。

平成25年6月19日
 福岡市長 高島 宗一郎

18 戦災復興記念群像



基本情報

所 在：西中洲公園
住 所：福岡県福岡市中央区天神 1-16
(福岡市地下鉄 天神駅 徒歩3分)
建 立 者：福岡市
建 立 年：昭和47年7月18日
連 絡 先：福岡市 中央区 地域管理部 維持管理課 公園係 092-718-1081 (直通)

碑 文

【表】

昇る
生まれる
歩く

富永朝堂 作

説 明 文

福岡市は第二次世界大戦末期の昭和二十年六月十九日午後十時三十分ごろから約二時間にわたり、米空軍B二九爆撃機約六十機による焼い弾攻撃を受け、都心部のほとんどが焦土と化した。その被災状況は、面積約四平方キロメートル、人口約六万人、戸数約一万三千戸に及んだ。

昭和二十年八月十五日、終戦を迎えて国は全国百十五都市の戦災復興の急務に鑑み、復興の基本計画を策定するとともに、特別都市計画法を制定した。本市もこれに基づき昭和二十二年一月二十二日福岡都市計画復興土地区画整理事業の認可を得て事業に着手した。事業は、混乱した戦後の社会状況のなかで幾多の困難はあつたが、関係者の協力を得て着手以来二十五年の歳月を経て、昭和四十七年二月二十二日完了するに至った。ここに事業完成の業績を顕彰し、記念群像を建立する。

福岡市長 阿部源蔵

補 記

碑文に記されている福岡大空襲の規模については昭和50年に明らかにされた米国防総省の機密文書によれば、爆撃航空機B29の数は、221機と記録されている。

19 戦災死者供養塔



基本情報

所 在： 簀子公園
住 所： 福岡県福岡市中央区大手門3丁目
(福岡市地下鉄 大濠公園駅 徒歩7分)
建 立 者： 簀子校区有志、簀子警防団一同
建 立 年： 昭和22年6月19日
連 絡 先： 不明

碑 文

【表】

戦災死者供養塔

【裏】

昭和二十年六月十九日夜ノ
大空襲ニ依リ簀子校区
内ニテ百七十六名戦災犠牲トナ
ル依ッテコニ校区内生存者有志
相計リ供養塔ヲ建立ス
昭和二十二年六月十九日

発起代表者 田中留吉
簀子校区内 有志一同
簀子警防団 団員一同

20 無縁仏地蔵尊



基本情報

所 在：圓應寺
住 所：福岡県福岡市中央区大手門 3-1-7
(福岡地下鉄 大濠公園前駅 徒歩 5 分)
建 立 者：圓應寺
建 立 年：戦前 ※昭和 30 年代「簀子戦災死者供養塔」が建てられた敷地の公園整備に
ともない、葬られていた遺骨をこの地藏尊に移した。
連 絡 先：圓應寺 092-761-1454

碑 文

【表】

南無阿彌陀佛

経 緯

昭和二十年六月十九日、さらに過酷な運命が待ち受けていた。福岡大空襲である。アメリカ軍の戦略爆撃計画が実行されたのだ。マリアナ諸島を出発した B 29 爆撃機の巨大編隊二百三十九機が九州を北上、背振山系から福岡上空に到達すると 23 時 11 分、容赦ない焼夷弾投下が開始された。日本側が応戦するも高射砲はほとんど命中せず、なすすべもなかったと聞く。赤や黄色の閃光を周囲に放ちながらアイスクャンデーのような形状の焼夷弾が「ヒューシュルル」と不気味な金属音を立てて暗い夜空を切り裂いた。

(中略)

博多や天神を中心に爆撃は約 2 時間にわたって行われ、東西は御笠川から樋井川まで、南北は博多湾海岸線から櫛田神社・大濠公園までの一帯が焼失した。実に福岡市の 3 分の 1 の家屋が戦火に焼かれたのである。市内でもとりわけ奈良屋、冷泉、大浜、大名、簀子 5 校区の被害が激しく、特に簀子校区はわずかに数軒を残してすべての家屋が全焼したと記録がある。

(中略)

当時の発表では、簀子校区の死者百七十六名、そのうち小学校児童二十四名であった。ムシロが敷かれただけの墓地の一角に真っ黒に焼け焦げた死体がズラリと並んだのである。あまりにも無残な姿に発する言葉は見つかるものではない。まもなく墓地と校庭で茶罷に付され、今その場所には慰霊塔が建っている。

出典：三木和信著「ひまわり」より

21 じゅうご地蔵



基本情報

所 在：栄昌寺
住 所：福岡県福岡市西区今宿町491
(JR今宿駅 徒歩19分)
建 立 者：遺族の皆様、栄昌寺婦人会（移設新築）
建 立 年：昭和30年6月18日（平成14年5月移設）
連 絡 先：栄昌寺 092-807-0671

碑 文

なし

説 明 文

じゅうご地蔵尊の由来

第二次世界大戦末期の昭和廿年（一九四五）六月十九日
福岡大空襲の際、かねて避難所に目されていた元十五銀行ビル
（現博多リバレイン、博多座）の地下室に退避した地域の人達のうち、
壁が高温化する危険を予感して無理にシャッターを揚げ屋外に
逃れた人は助かったが、周囲総ての火災で電源が切断された後の
地下室はシャッターの開閉できず、外部の人は地下室の危急存亡に
一人として気づくことなくただ必死に東公園目差して逃れつつあった。
高温はじわじわ炎熱の地獄と化し閉じ込められた六十三名の人達から
滲み出た脂汗が、踝を没する深さの溜となる惨状を呈し全員そこで
生命を落とされた。同三十年六月十八日戦災十周年に際し遺族の
皆さんが発起人となり博多区上川端町栄昌寺境内に地藏様を建
立された。「十五」ビルと「銃後」並びに「自由御」地藏の三つの言葉を
祈りの心として「じゅうご地蔵尊」と稱名された。焼夷弾で伽藍総てが
灰燼に帰した同寺は半世紀ぶりに西区今宿町へ移転復興するに伴い
この地藏様も同寺内に移られたが歳月を重ねる間に尊像の傷みも
増しつつあり、この度栄昌寺婦人会が浄財を拠出して堂宇を新築
寄進しました。戦火により非愼の生涯を了えられた人達の供養と、
戦争の悲惨さ更に平和の尊さを、この地藏様を体していつまでも後世
に語り伝えたいと念ずるものです。

平成十四年五月吉辰

浄土宗 栄昌寺婦人会

22 大牟田空襲の碑



基本情報

所 在： 普光寺公園
住 所： 福岡県大牟田市今山2538
（JR大牟田駅より 西鉄バス「普光寺」下車 徒歩10分）
建 立 者： 大牟田の空襲を記録する会、平和モニュメントをつくる会
建 立 年： 平成6年7月27日
連 絡 先： 大牟田の空襲を記録する会事務局 0944-58-3018

碑 文

【表】

大牟田空襲の碑

空赤く燃えひろがれど壕の中
寄れる亡骸を見きわめ難し
山本和夫

【裏】

大牟田市は、十五年戦争末期、アメリカ軍によって、つぎのように五回の空襲を受けた。

一九四四年十一月二十一日

一九四五年 六月 十八日

同 年 七月二十七日

同 年 八月 七日

同 年 八月 八日

これによって、大牟田の市街地は瓦礫の原と化し、死傷者およそ三千人、罹災家屋一万二千戸以上という多大の犠牲を出した。

アララギ派の歌人山本和夫も空襲によって妻子を失った。この碑に刻まれた歌は、その直後に詠まれた十一首の中の一詩である。

ここに、大牟田の空襲を歴史に留め、恒久の平和を祈念して、この碑を建立する。

一九九四年七月二十七日

大牟田最大の空襲の記念日に

大牟田の空襲を記録する会

平和モニュメントをつくる会

23 藤田町 被爆戦没者之碑



基本情報

所 在：天満神社
 住 所：福岡県大牟田市藤田町743
 （JR大牟田駅より 西鉄バス「船津町」下車 徒歩12分）
 建 立 者：藤田町被爆戦没者の碑建立委員会
 建 立 年：平成7年8月7日
 連 絡 先：藤田町被爆戦没者の碑保存会 0944-56-5995

碑 文

【表】

藤田町被爆戦没者之碑

【裏】

碑 文

あの悲惨な太平洋戦争が終わってから、五十年の歳月が流れた。
 わたしたちの住む藤田町とその周辺では、昭和二十年八月七日の昼
 大牟田第四回空襲の際、米軍機撃墜によって甚大な被害を被った。
 被弾した米軍機は空中分解して墜落し、積んでいた爆弾二十数発は
 藤田本村の民家に落下し大爆発した。そのためこの付近は壊滅に近
 い被害を受け、その惨状は地獄さながらの様相を呈した。被爆によ
 る死者は百人以上であった。また中原では、六月十八日夜、第二回
 空襲で六人が亡くなった。

藤田町で被爆死された人々および戦没者の霊を慰め二度と戦争の
 悲劇を繰り返すことのない恒久の平和を願うために町内町外の多数
 の人々のご協力により、「藤田町被爆戦没者の碑」を建立する。

平成七年八月吉日

藤田町被爆戦没者の碑建立委員会

24 戦災死者之霊碑



基本情報

所 在：小頭町公園
 住 所：福岡県久留米市小頭町7
 （西鉄電車 西鉄久留米駅 徒歩14分）
 建 立 者：久留米市長 山下善助、同助役 主計貞二、久留米市慰霊会長 野村福太郎、仏教会長 阿里燈
 建 立 年：昭和27年8月11日
 連 絡 先：久留米市社会福祉協議会 0942-34-3035

碑 文

【表】

戦災死者之霊碑

【裏下部】

発起者
 久留米市長 山下 善助
 （個人名）

説 明 文

戦災死者之霊碑

- 一、 第二次世界大戦末期の昭和二十年八月十一日午前十時三十分頃、わが郷土久留米市上空に現れた米軍戦爆連合（B24・B29・その他）約百五十機による油脂焼夷弾投下で炎天に乾き切った市内は、一瞬にして猛火に包まれ地獄さながらの惨状となりました。このことは、有史以来私たちの祖先がかつて経験したことのない災害であります。
- 二、 この霊碑は、郷土防衛の犠牲となられた二百十四名の尊い生命を悼み犠牲者を最も多く出した小頭町公園の一角に昭和二十七年八月十一日建立されました。
- 三、 久留米市においては、戦争の惨禍を二度と繰り返さないために、昭和五十九年七月に「久留米市は核兵器の廃絶と恒久平和を願う水と緑の人間都市である」と宣言し、平和事業を推進しています。

久留米市

25 久留米空襲戦災死者慰霊式



※写真提供 久留米市

開催概要（平成25年度）

歳事名：久留米空襲戦災死者慰霊式
 会場：小頭町公園内 戦災死者之霊碑前
 住所：福岡県久留米市小頭町7
 （西鉄電車 西鉄久留米駅 徒歩14分）
 日時：平成25年8月11日（日） ※例年8月11日開催
 参列者数：100人
 連絡先：久留米市社会福祉協議会 0942-34-3035

式次第（平成25年度）

1. 黙 祷
2. 表 白
3. 式 辞…久留米市社会福祉協議会会長 川地東洋男
4. 追悼の辞…久留米市長
5. 追悼の辞…久留米市議会議長
6. 祈念電文
7. 読経焼香

式 辞（平成25年度）

本日、ここに、久留米市戦災死者慰霊の式典をとり行うにあたり、慎んで哀悼の誠を捧げ、亡くなられた多くの方々の御霊のご冥福を、心よりお祈り申し上げます。

願みれば、今から六十八年前、昭和二十年八月十一日の午前十時三十分、突然久留米の空を襲った、戦略爆撃機の攻撃により、瞬く間に市街地の四分の一が焼失し、罹災者二万余名、そして二百十四名もの尊い生命が奪われました。

この大空襲により、それまで長年にわたって生業に励み、営々と築き上げてきた久留米の町は僅か一日にして焦土と化し、まさに、戦争の悲惨さと冷酷さを目の当たりにしたところであります。

ここに慎んで、戦争の犠牲になられた二百十四柱の御霊に思いをいたし、また、ご遺族のご心中をお察し申し上げ、心より哀悼の意を表する次第であります。

あの悪夢のような大空襲から、早六十八年を迎え、今年で六十二回目となる慰霊式を、迎えることができました。

この間、我が国は平和国家の建設に取り組み、ひたすら焦土からの再建と経済の発展に努力してまいりました。本市もまた、先人たちの血のにじむような努力により、人口三十万の中核市となるまでに、遅く成長を遂げてまいりました。

しかしながら、今日の私たちの平和と繁栄は、先の大戦における御霊の尊い犠牲のうえに築かれたものであることを、忘れることは出来ません。

残念ながら、今もつてこの地上から、紛争や残虐な事件が絶えることはなく、尊い命が失われているのが現状であります。

私たちは、戦争や紛争の最大の犠牲者は、いつも一般市民であることを思い、改めて、世界平和を強く望まざるにはられません。また、安全で安心して暮らせるまちづくりの実現が市民の最大の願いであることを改めて心に刻み、さらに努力していかねばなりません。

間近に終戦記念日を控えた本日、私たち三十万市民は心から御霊のご冥福と、ご遺族への限らない御加護を賜りますよう、祈念申し上げまして、式辞といたします。

平成25年8月11日
 久留米市社会福祉協議会
 会長 川地 東洋男

26 一ツ木延命地藏菩薩



基本情報

所 在：寶満宮（一ツ木神社）
 住 所：福岡県朝倉市一木174
 （甘木鉄道または西鉄電車 甘木駅より 甘木観光バス「一ツ木神社前」下車 徒歩1分）
 建 立 者：大刀洗空襲遭難者遺族一同
 建 立 年：昭和20年11月20日
 連 絡 先：個人であり記載せず

碑 文

【表】

延命地藏菩薩
 （空襲遭難者 故人名）

【裏】

昭和二十年
 十一月二十日
 建立

説 明 文

一ツ木延命地藏菩薩の由来

古来、当地は北に太平山を仰ぐ静かで豊かな平和郷であったが、太平洋戦争勃発により、近くの大刀洗飛行隊を中心に航空廠、製作所、高射砲隊、陸軍病院等が設置され、一大軍都と化していった。かくて昭和二十年三月二十七日、午前十時ごろ、大刀洗を目標とする米軍のB29爆撃機の大編隊による初の空襲に見舞われたのである。

折から、修業式の最中であった立石国民学校児童は警報と共に地方別に急ぎ帰途についたが、一ツ木地方の児童が生徒隊付近に至るころに、大刀洗の爆撃が始まりこのまま一ツ木に帰ることが危ぶまれ引率訓導の指示により学校近くの頼田の森へ退避したのであったが、不運にも退避し終った刹那、投下された爆弾により大多数の児童の命を奪ったのである。即死せし児童二十四名、重軽傷十数名の犠牲を出し後刻死亡せし児童と合わせて三十二名という大惨事となったのである。

一瞬にしてわが子を失った親の悲しみと、切なさは、やがて平和を願い亡き子の冥福を祈る心の現われとして、遺族一同相はかり同年十一月二十日この延命地藏の建立となったのである。

この地藏は、たとえ国家非常の時とはいえ、無垢で明るく天使のようないたいけな児童達の命を爆死という最も無惨な姿で奪われた親心の、二度とくりかえしてはならない戦争への憤りであり、恒久の平和を願って止まない叫びであることを銘記すべきである。

27 3・27 平和の碑のつどい



※写真提供 筑前町

開催概要（平成24年度）

歳事名：3・27 平和の碑のつどい
会場：筑前町 依井・熊ヶ山 平和の碑前
住所：福岡県朝倉郡筑前町依井2500-1
（JR二日市駅より 西鉄バス「新町」下車 徒歩15分）
日時：平成25年3月27日（水） ※例年3月27日開催
参列者数：80人
連絡先：筑前町 企画課 0946-42-6601（直通）

式次第（平成24年度）

1. 開会のことば
2. 黙とう
3. 筑前町長式辞
4. 来賓紹介
5. 大刀洗空襲に関わる語り部
6. 献 句
7. 朗 読「鎮魂（みたましずめ）」
8. 献 花
9. 閉会のことば

式 辞（平成24年度）

本日ここに、「第17回 平和の碑のつどい」を挙げるにあたり、旧大刀洗飛行場の空襲で犠牲になられた御霊に、謹んで追悼の誠を捧げます。時の流れるのは早いもので、あの空襲から68年の歳月が流れました。空襲において、「大空への夢」を目指していた若者をはじめ、多くの関係者が祖国の平安と発展を祈りながら、散華された犠牲者の在りし日の面影を偲び、改めて心から御冥福をお祈り申しあげます。また、かけがえのない最愛の肉親を失いながらも、戦中戦後の幾多の苦難を乗り越えられた、御遺族の深い悲しみや苦しみは、いかばかりであったかと、長年の御苦労をお察し申し上げ、深く敬意を表する次第でございます。

さて、「筑前町立大刀洗平和記念館」が開館しまして四年目を迎えています。この記念館は、旧大刀洗飛行場があった、この地で起きた歴史の真実と、平和の大切さを、国を背負って立つべき青少年に永久に語り継いで行くために、その情報を発信するために設置したものでございます。お陰様で多くの方に来館いただいております。来館された方には常設展示、シアターあるいは朗読等を御覧いただき「戦争の悲惨さ」から「平和の大切さ」を肌で感じていただいているものと思います。町は、この施設が「平和を願うまちづくり」のシンボルとして、その機能を発揮するようにしっかりと運営に努めて参る所存でございます。

あの忘れもしない3・11東日本大震災の発生から丸2年が経過しました。この大災害からも「命の尊さ」を改めて認識する機会でもありました。私たちには、明日を担う若者たちへ、平和の有難さ、命の尊さ、そして戦争がない時代にいる今の幸せ、その大切さを語り継いでいく責務がございます。ここに改めて、恒久平和の確立と、心豊かに暮らせる生活の実現のため、全力を尽くしていくことをお誓い申し上げまして、式辞といたします。

平成25年3月27日
筑前町長 田頭 喜久己

28 筑前町戦没者追悼式



※写真提供 筑前町

開催概要（平成25年度）

歳事名：筑前町戦没者追悼式 ※一般戦災死没者を含む
 会場：めくばー町民ホール
 住所：福岡県朝倉郡筑前町久光951-1
 （JR二日市駅より 西鉄バス「新町」下車 徒歩4分）
 日時：平成25年9月28日（土） ※例年10月中旬開催
 参列者数：147人
 連絡先：筑前町 福祉課 高齢者福祉係 0946-24-8763（直通）

式次第（平成25年度）

- | | |
|---------------|---------------------------|
| 1. 国歌斉唱 | 7. 献花（参列者全員） |
| 2. 開式のことば | 8. 町長あいさつ |
| 3. 黙祷 | 9. 遺族代表謝辞 |
| 4. 町長式辞 | 10. 朗読（平和のメッセージ）
（虹の会） |
| 5. 遺族代表追悼のことば | 11. 閉式のことば |
| 6. 来賓代表追悼のことば | |

式辞（平成25年度）

本日ここに、多数のご遺族並びにご来賓の皆様をお迎えし、平成25年度筑前町戦没者追悼式を挙げるにあたり、戦没者各位の御霊の前に謹んで追悼の誠を捧げます。

時の流れは早く、数多くの尊い命が失われた先の大戦から、68年の歳月が過ぎ去りました。今、こうして、苛烈を極めた戦闘の中で祖国を思い、家族を案じつつ、心ならずも戦場に倒れた方々、また国内外で戦禍に遭われ命を落とされた方々、あるいは遠い異郷の地で無念にも最期を遂げられた方々に思いをはせるとき、悲痛の思いが尽きることなく込み上げてきます。

ここに、改めて戦没者の方々のご冥福を心よりお祈り申し上げるとともに、最愛の肉親を失われ、時を経てもお癒されることのない深い悲しみを抱えながら、苦難を乗り越えてこられたご遺族の皆様、そのご苦労に対しまして深く敬意を表する次第でございます。

戦後、わが国は、一貫して平和の道を歩み、国民のためめぬ努力により幾多の困難を克服し、世界的にもめざましい経済発展を遂げてまいりました。

かつて東洋一を誇った大刀洗飛行場の航空拠点は、今日、平和の一大拠点として大刀洗平和記念館が建設され、この地で起きた歴史の真実と、平和の尊さを永久に語り継いでいくための情報発信基地へと生まれ変わりました。

さらに風化しつつある戦争の悲惨さ無情さと恒久平和の願いを後世に語り継ぐため、平和のメッセージ募集を行いました。多くの声が全国から届けられ、平和への思いが詰まった作品集として完成いたしました。

本日の追悼式に臨み、過去を謙虚に振り返り、悲しみの歴史を繰り返さないとの決意を新たに、不戦と平和を守り、温かくお互いを思いやり支えるまちづくりに一層の努力を重ねますことを、ここに固くお誓いいたします。

結びにあたりまして、ふるさと筑前町の平和と繁栄を守り続ける決意を新たにいたしますとともに、戦争の犠牲となられたすべての方々の御冥福と、ご遺族の皆様のご健勝を心からお祈り申し上げ式辞といたします。

平成25年9月28日
 筑前町長 田頭 喜久己

29 大刀洗空襲慰霊供養



※写真提供 豊福健吾

開催概要（平成25年度）

歳事名：大刀洗空襲慰霊供養
会場：原地蔵公民館
住所：福岡県朝倉郡筑前町原地蔵2226
（甘木鉄道 大刀洗駅 徒歩8分）
日時：平成25年3月24日（日） ※例年3月27日直近の日曜日開催
参列者数：130人
連絡先：大刀洗空襲慰霊供養実行委員会 個人宅のため記載せず

式次第（平成25年度）

1. 1分間黙祷
2. 開会の言葉
3. 挨拶…原地蔵区長 熊手優、福岡地区明るい社会づくり運動協議会 会長 川崎賢治
4. 来賓紹介
5. 読経供養
6. 追悼電報披露
7. 語り部…「母ちゃん、僕、震えがとまらない」長谷川幸雄
8. 人権作文朗読…「大刀洗大空襲から学んだこと」小郡市立大原中学校2年
9. 子ども達の唄…原地蔵子ども会の皆さん
10. 献花
11. 挨拶…大刀洗空襲慰霊供養実行委員会 実行委員長 豊福健吾
12. 閉会の言葉

挨拶（平成25年度）

今年も大刀洗空襲慰霊供養を開催いたしましたところ多数の皆様にご参加いただきありがとうございました。今年で第21回の慰霊供養となりますが、これも関係者及び地元ボランティアの方々のご支援とご協力の賜物と感謝しております。

私が実行委員長になった当時は、毎年毎年同じように供養をしていけば良いと思っておりました。しかし、年々回を重ねる毎に少しずつ若い世代の方にも参加していただけるようになり、お世話する私達にとりまして嬉しい限りです。

毎年この日にお会いする方々とも「お久しぶりですね」とあいさつを交わすようにもなりました。このつながりを大切に、『平和を願い、次世代に語り継ぐ』この慰霊供養がいつまでも続きますよう、今後とも皆様のご協力とご参加をお願いして私の挨拶といたします。

実行委員長 豊福健吾

佐 賀 県

1 記念碑「B29 空爆焦土」



基本情報

所 在：平石強 個人宅敷地内
 住 所：佐賀県佐賀市水ヶ江6-5-35
 （JR佐賀駅より 西鉄バス「大崎」下車 徒歩1分）
 建 立 者：平石強
 建 立 年：平成23年8月15日
 連 絡 先：個人であり記載せず

碑 文

【表】

昭和二十年八月五日夜 B29 空爆焦土

【裏】

太平洋戦争罹災

【右】

かあちゃん たすけて

【左】

平成二十三年八月十五日 平石四郎、トエ

経 緯

昭和二十年八月五日夜十一時頃、米軍B29爆撃機約60機が、小型爆弾、焼夷弾を投下、死者61名、焼失戸数443戸で、県内最大の空襲でした。町は火の海となりました。

このままでは忘れ去られてしまうと思い、自宅の敷地に空襲を伝えるために碑を立てました。

妹が9歳、私は14歳の2人を火の海の中を母に抱きかかえられ逃げました。

火の海の中で動けない私は、かあちゃんたすけて、かあちゃんたすけて、と母親に助けをもとめた叫びが忘れられません。碑の一文に、かあちゃんたすけて、と彫り込みました。母は右足をひどく焼きました。

この町で、大勢の人が心や体に傷を負って生きてきたことを覚えて下さい。

この町で、空襲があったことを忘れないで下さい。

平石強（建立者）

2 頌魂碑



基本情報

所 在：藤木公園
住 所：佐賀県鳥栖市藤木町2457
(JR鳥栖駅 徒歩12分)
建 立 者：国鉄 門司鉄道管理局有志一同・鳥栖電力区職員一同
建 立 年：昭和20年12月11日
連 絡 先：九州旅客鉄道株式会社 鳥栖電力区 0942-82-3580

碑 文

【表】

頌魂碑

【裏】

昭和二十年十二月十一日建之
門鉄管内有志並ニ
鳥栖電力区員一同

【右横】

(故人名)

【左横】

此ノ地ハ昭和二十年八月十一日米国機空襲
ノ際所記ノ鳥栖電力区職員及ビ動員学徒諸
氏ガ職務執行中ソノ直撃弾ヲ蒙リ悲壮ナル
戦死ヲ遂ゲタルノ地ナリ依ツテソノ英魂ヲ
弔慰シ冥福ヲ祈ルモノナリ

3 鳥栖電力区戦没者慰霊祭



※写真提供 J R九州鳥栖電力区

開催概要（平成25年度）

歳事名：鳥栖電力区戦没者慰霊祭
会場：藤木公園内 頌魂碑前
住所：佐賀県鳥栖市藤木町2457
（JR鳥栖駅 徒歩12分）
日時：平成25年8月11日（日） ※例年8月11日
参列者数：27人
連絡先：九州旅客鉄道株式会社 鳥栖電力区 0942-82-3580

式次第（平成25年度）

1. 参列者記帳
2. 開式
3. 読経…妙善寺住職
4. 焼香
5. 住職挨拶
6. 主催者挨拶…九州旅客鉄道株式会社 鳥栖電力区 区長
7. 閉式

挨拶（平成25年度）

本日は、お暑いなか、鳥栖電力区戦没者慰霊祭に、遺族の方々と初め、関係者の方々、多数、ご参列いただきまして、誠にありがとうございます。

早いものであれから一年がたち、また、皆様方とこの頌魂碑の前でお会いすることができました。

職員の江頭さん、原武さん、陣内さん、横尾さん、平野さん、正木さん、堤さん、学徒動員の内田さん、実松さん、寺崎さん、青山さん、中原さん、堤さん、皆様方が無念のもとに逝かれて、早いもので六十八年の月日が経過しました。ごらんの様に今年も皆様がこの頌魂碑の前に集まって下さりました。

今の日本は、皆様方のいしずえのもと大きく成長し、豊かで不自由の無い生活が出来るようになりました。本当に有難う御座います。

しかし、一方では痛ましい戦争を知らない世代に入り、若い人たちは自由気ままな生活をおくり、学徒動員の言葉すら、知らない状況となっています。また、他国では平然と戦争や暴動が継続しています。

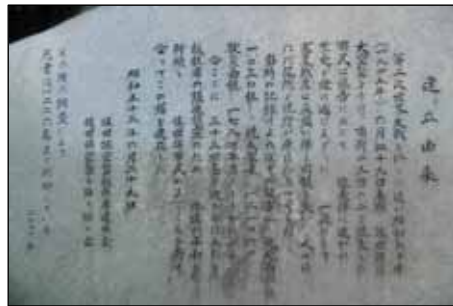
今の私たちに出来ること、それはこの日本で再び戦争を起こさないために、小さいながらもこの慰霊祭を継続させ、痛ましくも悲しい戦争について、後世に伝えていかなくてはならない事だと考えます。

最後になりますが、殉職された方々のご冥福を心よりお祈りし、これからも、私たち自身が戦争の無い、平和な時代を築いてゆくこと、鉄道の安全を築いていくことを英霊に誓い、また、来年も皆様方とこの頌魂碑の前でお会いすることを誓い、私の挨拶とさせていただきます。

平成25年8月11日
鳥栖電力区 区長 酒井 秀幸

長 崎 県

1 鎮魂慰霊平和祈願の塔



基本情報

所 在：中央公園
住 所：長崎県佐世保市宮地町136-7
(JR佐世保駅より 佐世保市営バス「松浦町中央公園入り口」下車 徒歩3分)
建 立 者：佐世保市民
建 立 年：昭和52年6月29日
連 絡 先：不明

碑 文

【左側面】

鎮魂慰霊平和祈願の塔

佐世保市民 これを建つ
昭和五十二年六月二十九日

【左側面】

過ぎ去った 三十余年の重い歳月
人柱となった あなたがたの
数知れない 命が
限らない安らぎに充たされる日
それは
尊い 命の土壌の上に
みんなが生きていることが
うれしくなる
そんな
争いのない
美しい平和の花を
咲かせたときである

歳月 極まりなく
流れ また 終わりのなし

噫々
空 また 空
寂 また 寂
こころなり いのちなり

今
至心に合掌し
涙しつゝ
生命ありし日の御名を
書きとどめ
真心をこめて
供養し 奉ります

説 明 文

建立由来

第二次世界大戦も終わりに近い昭和二十年
(一九四五年) 六月二十九日未明 佐世保は
大空襲をうけ 市街の三分の二を焼失した
市民は爆音におびえ 焼夷弾に追われ
業火と煙に逃げまどった 一夜にして
家屋財産は灰燼に帰し肉親を失い 人々は
ただ茫然と焼野が原にたちつくした
当時の記録によればその被害は 焼死者
一、〇三〇柱 焼失家屋 一二、一〇六戸
被災面積 一七八万平方メートルにおよぶ

今ここに 三十三回忌を迎えるにあたり
犠牲者の鎮魂慰霊のため 永遠の平和を
祈願し 佐世保市民のまごころを寄せ
合つてこの塔を建立した
昭和五十二年六月二十九日
佐世保空襲犠牲者遺族会
佐世保空襲を語り継ぐ会

その後の調査により
死者は一二二六名まで判明している
二〇〇六年

2 佐世保空襲死没者追悼式



※写真提供 佐世保市

開催概要（平成25年度）

歳 事 名：佐世保空襲死没者追悼式
 会 場：佐世保市民会館
 住 所：長崎県佐世保市花園町10-19
 （JR佐世保駅より 佐世保市営バス「市民会館前」下車 徒歩1分）
 日 時：平成25年6月29日（土） ※例年6月29日開催
 参 列 者 数：150人
 連 絡 先：佐世保市 市民生活部 市民生活課 0956-24-1111（代表）

式 次 第（平成25年度）

1. 黙 と う
2. 開 式
3. 主催者追悼のことば…佐世保市長
4. 来賓追悼のことば…佐世保市議会議長
5. 遺族代表追悼のことば…遺族代表
6. 献 花
7. 児 童 千 羽 鶴 献 呈…小学校児童代表
8. 生 徒 作 文 発 表…中学校生徒代表
9. 遺 族 代 表 あ い さ つ…佐世保空襲犠牲者遺族会会長
10. 閉 会

追悼のことば（平成25年度）

暑い夏の訪れを前にして、本日、平成二十五年度 佐世保空襲死没者追悼式を執り行うにあたり、過ぎし日の惨禍に想いを致しながら、謹んで主催者として追悼のことばを捧げます。
 昭和二十年のこの日、間近に迫った終戦を知る由もなく、爆撃機の襲来に逃げ惑いながら、尊い命を落とされた千二百二十九名の御霊のご無念を思いますとき、また、最愛のご家族を失ったご遺族の皆さまのご心情を考えますとき、尽きることのない哀悼の念を禁じ得ないのでございます。

あの忌まわしい空襲から今年で六十八年の歳月が流れました。
 私どもは昭和二十年をひとつの区切りとし、焼け野原となったあの日から平和国家建設への一歩を歩み始めました。そして、国民一人ひとりの努力により、奇跡的な復興を遂げ、今では経済的な繁栄とともに国民誰もが平和を享受できる社会を築き上げて参りました。

私たちのふるさと佐世保市もまた、復興を願う多くの市民の皆さまの力強い想いとご協力により、県北の拠点都市として、産業に観光にと発展を続けております。
 特に本年は、第6次佐世保市総合計画の後期基本計画がスタートいたしました。市民が中心のまちづくりをより一層進めていくと同時に、この平和で幸せな時代が永遠に続き、市民誰もが誇りを持つことのできるふるさとづくりを目指して、邁進して参る所存でございます。

しかしながら、今日の私たちの生活を顧みますとき、決して忘れてはならないことがございます。それは、空襲犠牲者の方々をはじめ、戦争により亡くなられた多くの方々、そして戦後の苦難に満ちた時代を必死になって生き抜いてこられた、ご遺族の方々の存在が、今日の平和で安定した社会の礎になっているということでございます。

私たちは、御霊のご遺徳をお偲ぶするとともに、戦争という悲しみの歴史を再び繰り返さないという固い決意をここに新たにいたします。

そして、この平和で幸せな時代を未来へ継承し、市民誰もが元気で誇りを持つことのできるふるさとづくりを目指して、全力を尽くすことをお誓いいたします。

終わりに、御霊の安らかならんことをお祈りし、ご遺族、ご参列の皆様方とともに、衷心より哀悼の意を表し、平成二十五年度佐世保空襲死没者追悼式にあたりましての、追悼の言葉といたします。

平成25年6月29日
 佐世保市長 朝長 則男

3 島原市戦没者追悼式



※写真提供 島原市

開催概要 (平成25年度)

歳 事 名 : 島原市戦没者追悼式 ※一般戦死没者を含む
 会 場 : 島原文化会館
 住 所 : 長崎県島原市城内1-1177-2
 (島原鉄道 島原駅 徒歩7分)
 日 時 : 平成25年10月4日(金) ※例年10月上旬開催
 参 列 者 数 : 320人
 連 絡 先 : 島原市戦没者慰霊奉賛会事務局(島原市福祉保健部内) 0957-62-8025

式次第 (平成25年度)

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1. 開 式 の 辞 | 7. 来 賓 者 追 悼 の 辞 |
| 2. 国 歌 斉 唱 | 8. 追 悼 電 報 披 露 |
| 3. 主 催 者 追 悼 の 辞 | 9. 来 賓・奉 賛 会 役 員 献 花 |
| 4. 鎮 魂 曲 演 奏 | 10. 献 詠 |
| 5. 遺 族 代 表 献 花・献 水 | 11. 遺 族 謝 辞 |
| 6. 黙 祷 | 12. 閉 式 の 辞 |

追悼の辞 (平成25年度)

本日、多数のご遺族、ご来賓のご列席を賜り、島原市戦没者追悼式を挙げるにあたり、戦没者各位の御霊に対し、謹んで哀悼の誠を捧げます。

先の大戦から、六十有余年の歳月が過ぎ去りました。

顧みますと、ご英霊の皆様方は、し烈を極めたあの大戦において、純粋な祖国愛に燃え、愛しい家族の無事を念じつつ戦場に散り、戦火に倒れ、或いは、戦後、帰国を待ち望みながら、遠い異郷の地で亡くられました。

尊い命は永遠に還ることはなく、今、改めて、過ぎし大戦の苦難に満ちた往時を偲び、戦没された皆様方に思いをはせ、残されたご遺族の深い悲しみを思いますとき、悲痛な思いが迫ってまいります。

ここに、心からご冥福をお祈りいたします。

また、戦後、混迷する社会の中、残されたご遺族の皆様方が歩んでこられた道のりは、長く苦しい年月であり、あらゆる苦難に耐えながら懸命に働き、家業に精励し、お子様を育てられました。そのご努力に対し、心から敬意を表するものでございます。

ご英霊皆様方が築かれた我が国は、焦土の中から立ち上がり、世界有数の平和国家として、繁栄を遂げて参りました。

今日の平和と繁栄は、皆様方の尊い礎の上に築かれたものであることを、決して忘れることはできません。

しかし、この地球上では、今なお相次ぐ紛争や核の脅威が、世界の人々の平和を揺るがしております。

戦争を知らない世代が社会の中心となり、あの悲惨な戦争体験が人々の心から遠くなっていく今日、過去を振り返り、幾多の尊い犠牲がありましたことを語り継ぎ、再び戦争の惨禍を繰り返すことのないよう恒久平和を確立することが、私どもの役目であり、犠牲となられた皆様方の御霊を鎮めると確信しているところであります。

私どもは、心新たに、全市民の幸せを願い、あなた方が残された尊いご教訓をもとに、祖国の平和と我が郷土島原市のお一層の繁栄に向けて、邁進してまいりますことを、堅くお誓い申し上げます。

ここに、戦没者各位のご冥福を心からお祈り申し上げ、在天の光となって郷土島原市の発展にご加護賜らんことを念じますとともに、ご遺族皆様方のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げまして、追悼のことばといたします。

平成25年10月4日
 島原市戦没者慰霊奉賛会
 会長 古川 隆三郎

4 殉国者慰霊塔



基本情報

所 在：温泉熊野神社
住 所：長崎県島原市杉山町509
(JR島原駅より 島原鉄道バス「熊野神社前」下車 徒歩2分)
建 立 者：遺族会等 有志
建 立 年：昭和39年4月
連 絡 先：温泉熊野神社 0957-64-6511

※一般戦災死没者を含む

碑 文

【表】

殉国者慰霊塔

【右】

昭和三十九年四月吉日

説 明 文

慰霊塔建設概要

この慰霊塔は元宇土に建てられていた招魂社を復興再建したもので殉国の英霊に対する追慕の念と理解により わが地区民殊に杉谷出身者各位の協力と善意とがこの崇高なる姿となって実現したのである

総工費 七拾万円
施工者 株式会社長崎土建工業所
竣 工 昭和三十九年三月
(個人名)

5 無縁者之墓



基本情報

所 在：尾山共同墓地
住 所：長崎県東彼杵郡川棚町白石郷字尾山北平 1 1 1 - 2
(JR川棚駅より 西肥バス「川棚高校前」下車 徒歩5分)
建 立 者：川棚町
建 立 年：昭和61年3月
連 絡 先：東彼杵郡 川棚町 0956-82-3131 (代表)

碑 文

【表】

無縁者之墓

【裏】

昭和六十一年三月吉日建之川棚町

経 緯

昭和20年7月31日10時過ぎ、米軍飛行機B24型7機の空襲で爆弾約10発が爆発し、付近の多数が重軽傷、69名が死亡した。そのうち、戦時慰問で来町中の朝鮮人劇団員のうち7名が死亡した。後で見付かった同劇団員2名の遺骨は白石郷尾山の共同墓地に埋葬した。その後、長崎原爆死亡者のうち身元不明者11名の遺骨も共同墓地に埋葬した。

その40年後、町による墓地の整備事業で、「無縁者之墓」(納骨堂)が昭和60年12月着工～翌61年3月竣工し、納骨された。

なお、この「無縁者之墓」(納骨堂)には川棚空襲で死亡した身元不明者だけではなく、その他の遺骨も合葬してある。

また、この墓碑(納骨堂)の西隣に「原爆殉難者慰霊碑」が平成3年3月建立された。

出典：喜々津健寿著「川棚歴史散歩」(芸文堂)をもとに構成
※一部記述の誤りを訂正

熊 本 県

1 熊本平和祈念之碑



基本情報

所 在：白川右岸緑地
 住 所：熊本県熊本市中央区水道町500-3
 （JR熊本駅より 熊本市電「水道町」電停 徒歩5分）
 建 立 者：ライオンズクラブ国際協会
 建 立 年：昭和55年4月27日
 連 絡 先：熊本菊南ライオンズクラブ 096-273-6525

碑 文

【表】

熊本市は昭和十九年十一月二十一日以来数回の空襲を受けた なかでも昭和二十年七月一日夜から二日未明にかけての B29 による焼夷弾攻撃 八月十日等の空襲のため 水前寺 大江 本荘 春竹 本山 蓮台寺 八島方面 新市街下通 水道町 安巳橋 千反畑 草葉町 坪井 黒髪町方面等 市内の約三分の一が消失 この間の罹災官公庁学校は 県庁 県会議事堂 県立図書館 財務局 税務署 専売局煙草工場 熊本郵便局 熊本幼稚園 白川 黒髪 壺川 池田 本荘 日吉 熊本の各国民学校 済々黌 熊本中学 市立 大江 家政高女 熊本工業 市立商工 薬専 熊本医大等 罹災家屋約一万一千戸 罹災者数四万三千人 死者469人 負傷者552人という筆舌につくせぬ悲惨な被害を受けた

世界の平和と全人類の幸福に奉仕することを目的とするライオンズクラブはライオンズクラブ国際協力国際児童年間に当り その概要を記し 被害者の霊を弔い 再び戦争をくりかえさぬよう祈念するため この碑を建立するものである

1980年4月27日 ライオンズ国際協会337-D地区年次大会

【裏】

熊本平和祈念之碑

碑 文

ライオンズクラブ国際協会
 337-D地区ガバナー 村上望城

ホストクラブ

熊 本 ラ イ オ ン ズ ク ラ ブ
 熊 本 中 央 ラ イ オ ン ズ ク ラ ブ
 熊 本 第 一 ラ イ オ ン ズ ク ラ ブ
 熊 本 マ グ ナ ラ イ オ ン ズ ク ラ ブ
 熊 本 キ ャ ッ ス ル ラ イ オ ン ズ ク ラ ブ
 熊 本 リ ン ド う ラ イ オ ン ズ ク ラ ブ
 熊 本 火 の 国 ラ イ オ ン ズ ク ラ ブ

2 熊本平和祈念碑慰霊祭



開催概要（平成25年度）

歳事名：熊本平和祈念碑慰霊祭
 会場：白川右岸緑地内 熊本平和祈念の碑前
 住所：熊本県熊本市中央区水道町500-3
 （JR熊本駅より 熊本市電「水道町」電停 徒歩5分）
 日時：平成25年7月1日（月） ※例年7月1日開催
 参列者数：100人
 連絡先：熊本菊南ライオンズクラブ 096-273-6525

式次第（平成25年度）

1. 開会のことば…熊本菊南ライオンズクラブ幹事
2. 黙 祷
3. 挨拶…熊本菊南ライオンズクラブ会長
4. 慰霊のことば…平和憲法を生かす会 会員・元教諭
5. 献 花…肥後熊友ライオンズクラブ
6. 閉式のことば…熊本菊南ライオンズクラブ幹事

挨拶（平成25年度）

本日はご参集、ありがとうございます。

7月1日の、この慰霊祭に慰霊碑建立以来、毎年欠かさずご参加の柏田さん、国米さんには頭が下がる思いです。また、古沢先生には、体験者として、証人として語りべとして我が郷土・熊本のB29による空襲のすさまじき光景をお話しいただいております。

7月1日と8月10日のB-29、364機による空爆によって、熊本市街地の1/3が焦土化し、被災家屋は1万戸、死者は469人、被災者4万人以上と伝えられています。

大惨事から68年目を迎える今、日本を取り巻く内外環境は、中では憲法9条改正の声が堂々とまかり通る世相となり、外では中国の軍備増強など戦前の形相と似たような情勢になりつつあるように思います。

歴史は繰り返されるのであろうか・・・

いいえ、絶対に繰り返してはならない。だから、今こそ戦争のむごたらしさを経験された方々の実体験に耳を傾け追体験者となって、自分の子ども、孫に悲劇を繰り返さないために、語り伝えるべきであろうと思います。

熊本菊南ライオンズクラブ
 会長 辻 重男

3 慰霊塔



基本情報

所 在：四ツ山公園
住 所：熊本県荒尾市大島字笹原910-2
(JR荒尾駅 徒歩20分)
建 立 者：荒尾市長 古閑幹士
建 立 年：昭和38年9月29日
連 絡 先：荒尾市 福祉部 福祉課 0968-63-1406 (直通)

碑 文

【表】

慰霊塔

説 明 文

慰霊塔建設記念碑

古来 平和の為の戦いと呼号し 幾多の民衆の血を流した戦争の歴史は所詮は 征服と屈従のあさましき人間の生きる姿ではなかつたか。国の上に国なく人の上に人なく 支配と隷従に関りなき忒こそ 人間の求むる真実である 日本は過去一世紀に四たび戦い 吾界第二次大戦に敗れたが この長い苛烈な戦いの後には吾界に四十数国の獨立と民族の解放を齎らした それは私達の指向する人の忒の姿への前進と言へる 過ぎし悲惨な戦いの犠牲は思い起すだに涙を誘うも後忒に残した功は高い ここに荒尾市約二千柱の戦没者の御霊を祀る

昭和三十八年九月二十九日

荒尾市長 古閑幹士

4 荒尾市戦没者追悼式



※写真提供 荒尾市

開催概要（平成25年度）

歳 事 名：荒尾市戦没者追悼式 ※一般戦災死没者を含む
 会 場：荒尾総合文化センター
 住 所：熊本県荒尾市荒尾4186-19
 （JR荒尾駅より 産交バス「文化センター前」下車 徒歩1分）
 日 時：平成25年10月24日（木） ※例年10月第4木曜日開催
 参列者数：150人
 連絡先：荒尾市 保健福祉部 福祉課 総務係 0968-63-1406（直通）

式次第（平成25年度）

1. 開式のことば…荒尾市副市長
2. 国 家 斉 唱
3. 祭 主 式 辞…荒尾市長
4. 黙 祷
5. 追悼のことば…荒尾市遺族連合会会長、熊本県知事、荒尾市議会議長
6. 追 悼 電 披 露
7. 献 花
8. 一 同 拝 礼
9. 閉式のことば…荒尾市保健福祉部長

式 辞（平成25年度）

本日ここに、戦没者、戦傷病者、並びに戦災死没者の御遺族をはじめ、多数の御来賓の皆様をお迎えして、平成二十五年度荒尾市戦没者追悼式を執り行うに当たりまして、戦没者の御霊に謹んで哀悼のことばを申し上げます。

先の大戦が終結してから、六十八年の歳月が過ぎ去りました。あの苛烈を極めた戦いの中で、三百万余の方々が祖国の安泰と家族の無事を案じつつ、戦場に倒れ、戦火に遭われ、あるいは戦後、遠い異郷の地において亡くなられました。

戦没者の方々の無念を思うとき、今なお悲痛の思いがこみ上げてまいります。

また、最愛の肉親を失った悲しみに耐え、苦痛を乗り越えてこられたご遺族に、深く敬意を表します。

戦後、私たちはこの悲慘な戦争を二度と繰り返さないとの固い決意の下、国民のたゆめぬ努力により、平和で豊かな社会へと発展を遂げてまいりました。

今日の繁栄と平和が、戦争によって心ならずも命を落とされた方々の尊い犠牲と、かけがえのない肉親を亡くされたご遺族の皆様の大変なご苦労の上に築かれていることを、ひとときも忘れてはなりません。そして、過去の悲慘な戦争の教訓を風化させることなく、命の尊さ、平和の大切さを次の世代に語り継いでいかなければならないと思っております。

私たちは、今後、近隣諸国はもとより、世界中の国々との友好関係を一層発展させ、国際社会の一員として、世界の恒久平和を確立し、人々が心豊かに暮らせる社会の実現に向けて全力を尽くして参ります。

ここに、戦没者の方々の御霊の安らかならんことを、そして御遺族の皆様今後の御平安と御健勝を、心からお祈り申し上げまして、式辞といたします。

平成25年10月24日
 荒尾市長 前畑 淳治

5 水俣市戦没者追悼式



※写真提供 水俣市

開催概要（平成25年度）

歳 事 名：水俣市戦没者追悼式 ※一般戦災死没者を含む
 会 場：水俣市総合もやい直しセンター「もやい館」
 住 所：熊本県水俣市牧ノ内3-1
 （肥薩おれんじ鉄道 水俣駅 徒歩20分）
 日 時：平成25年10月4日（金） ※例年10月中旬開催
 参 列 者 数：約220人
 連 絡 先：水俣市 福祉環境部 福祉課 生活支援室 0966-61-1640（直通）

式 次 第（平成25年度）

1. 開式のことば
2. 黙 禱
3. 式 辞…水俣市長
4. 追悼のことば…熊本県知事、熊本県議会議員、水俣市議会議長、水俣市遺族会会長
5. 回 顧…遺族代表
6. 献 詠…水俣市吟友会
7. 献 花
8. 閉式のことば

式 辞（平成25年度）

本日、ここに、戦没者の方々の御霊の御前で、御遺族をはじめ御来賓、市民の皆様のお臨席を賜り、平成25年度水俣市戦没者追悼式を挙行するにあたり、謹んで哀悼の誠を捧げます。

終戦から68年の歳月が過ぎ去りました。戦後、我が国は焦土の中から立ち上がり、たゆまぬ努力を積み重ねて、平和で豊かな社会を築き上げてまいりました。

いま、私たちが当たり前のように享受している平和と繁栄は、身命を捧げ歴史の礎となられた幾多の重く尊い犠牲の上に成り立っていることを、改めて心に深く刻んでまいらなければなりません。私たちすべての世代の人々が、悲しみの歴史を繰り返さないとの決意を新たにするとともに、戦没者の方々が、かけがえのない命をもって示された戦争の悲惨さと平和の尊さを風化させることなく、しっかりと語り継ぎ、国際社会に向け発信していくことが、現在を生きる者としての重要な使命であります。

水俣病を経験し、命と環境の大切さを改めて確認することとなった私たちは、水俣を命の大切さを基盤にすえた、ぬくもりのある環境モデル都市にしたいと考えております。命を尊ぶまちづくりを進めていくことが、ひいては尊い犠牲となられた戦没者の方々のお気持ちにお応えすることであり、このことは市民としての責務でもあると思います。

ところで、いよいよ来週9日には、各国要人をお招きして「水銀条約外交会議」が開催され、さらに、27日には天皇・皇后両陛下ご臨席のもと、「第33回全国豊かな海づくり大会」の放流事業が開催されます。水俣の豊かな自然・環境への取り組みを国の内外に発信する絶好の機会として、市民の皆様に参加を得て、盛り上げてまいりたいと考えております。本式典に参加の皆様のご理解とご協力も併せてお願いいたします。

最後に、戦没者の御霊のとしえの御冥福をお祈り申し上げますとともに、願わくば在天の光として、水俣の行く末を照らしてくださることを念じ、併せて御遺族皆様方の御多幸を祈念いたしまして、追悼の式辞といたします。

平成25年10月4日
 水俣市長 宮本 勝彬

大 分 県

1 ムッチャン平和像



基本情報

所 在：平和市民公園内 ワンパク広場
住 所：大分県大分市大字牧七歩22
(JR牧駅 徒歩7分)
建 立 者：平和を願う多くの人々
建 立 年：昭和58年8月12日
連 絡 先：大分市 総務課 097-537-5602 (直通)

碑 文

【裏】

戦争に父をとられ
横浜空襲で母、弟にはぐれ
大分に疎開して胸を病み
防空壕に一人暮らしして
飢え 渴き 逝った
少女 ムッチャン
霊よ 安かれ
全国の祈りの寄金で建立
毎日新聞社

可憐な少女が
父母の愛をうけることなく
防空壕の中で逝った
ムッチャンの像に
私達市民は
平和を愛し 子供達が
健やかに育つ大分
平和よ永遠なれと此の地に誓う
大分市長 佐藤益美
昭和五十八年八月十二日

戦禍繰り返さずと
一粒の善意に相集いしもの
四海に及び 此処に万筆開く
その誠意に応え平和の願いを込め
謹しみて造像す

制作者 村上炳人
昭和五十八年八月十二日

説 明 文

この「ムッチャン平和像」は、昭和五十二年に毎日新聞社大阪本社が企画した戦争体験記（終戦三十三回忌の夏）に、京都府宇治市の主婦中尾町子さんが疎開先の太田市で出会った少女「ムッチャン」の思い出の手記を投稿し、それが記事として掲載されたことが建立のきっかけとなりました。

横浜で両親と弟を戦災で亡くし、太田のおばさんを頼って疎開していたムッチャン（当時十二歳）は、結核を患い飢えと孤独の苦しみの中、昭和二十年の終戦直後、西太田駅近くの防空壕の中でひとり寂しく死んでいったという。

この戦争悲話は、全国的な反響を呼ぶこととなり、ムッチャンの記念像建立にと各地から約六百五十万円の寄付金が寄せられ、その平和を願う多くの浄財により、昭和五十八年八月十二日、ここ平和市民公園ワンパク広場に「ムッチャン平和像」（村上炳人）が建立除幕されました。

二度と戦争による悲惨な惨禍を繰り返さないためにも、この平和像建立を機に平和への誓いを新たにするとともに、平和像が恒久平和のシンボルとして皆様に愛され、そして平和の輪がさらに広がることを願っております。

大分市

2 ムッチャン平和祭



※写真提供 大分市

開催概要 (平成25年度)

歳事名：ムッチャン平和祭
 会場：ホルトホール大分(式典) 平和市民公園内 ワンパク広場(夕べ)
 住所：大分県大分市金池南1-5-1 大分県大分市大字牧七歩22
 (JR大分駅 徒歩2分) (JR牧駅 徒歩7分)
 日時：平成25年8月6日(火) ※例年8月上旬開催
 参列者数：約1,000人
 連絡先：ムッチャン平和祭実行委員会事務局(大分市 総務課内) 097-537-5602

式次第 (平成25年度)

1. 記念演奏会…大分市立城東中学校吹奏楽部)
 2. 開式
 3. ムッチャンの歌唱…大分市少年少女合唱団)
 4. 主催者挨拶…大分市長、ムッチャン平和祭実行委員長
 5. 来賓祝辞…大分市議会議長
- ※同日夜、ワンパク広場にて「ムッチャン平和祭夕べ」を開催

挨拶 (平成25年度)

第30回ムッチャン平和祭並びに第38回憲法記念講演会の開催にあたり、ひと言ご挨拶を申し上げます。

本日は大変お忙しい中、板倉永紀市議会議長をはじめ、市議会議員の皆様、各界各層の代表者の皆様、そして多くの市民の皆様のご出席をいただき、盛大に開催できますことに対しまして、主催者の一人として厚くお礼申し上げます。

ご案内のとおり、昭和58年8月に「ムッチャン平和像」が建立され、これを機に始まったこの平和祭も、今年で30回目を迎えることになりました。

現在では、「ムッチャン平和像」は平和を愛するシンボルとして広く市民の皆様に浸透するとともに、「ムッチャン平和祭」は本市の平和事業の中核として、全国的にも非常に高く評価されております。

これもひとえに平和祭実行委員会をはじめとする関係者の皆様のご尽力と市民の皆様のご理解、ご協力の賜と心から感謝申し上げます。

さて、今回のムッチャン平和祭は、会場を先月20日にオープンしたばかりの、ここ「ホルトホール大分」に移しての開催であります。

本市も一昨年、市政施行100周年を迎え、次の100年に向け新しいスタートを切ったところであり、その象徴となるこの「ホルトホール大分」の完成と、ムッチャン平和祭の30周年という節目が重なり、記念となる平和祭が本日ここに開催出来ますことは、大変喜ばしく感じると同時に、100年後の平和な大分市に思いを馳せているところでございます。

また、引き続き行われます「憲法記念講演会」は、毎年、各界から幅広く講師をお招きし、基本的人権の尊重や恒久平和などを基本理念とする日本国憲法の意義について、また、生命の大切さについて、より身近に考えていただく機会となるよう開催してきたものでございます。

今回は、ムッチャン平和祭30周年記念講演会との共催で、長崎市より長崎平和推進協会継承部の山脇佳朗さんをお招きし、「わたしの被爆体験」と題しご講演をさせていただきます。

長崎での原爆を実際に体験された山脇さんのお話をお聞きすることは、私達にとって貴重な経験となるとともに、平和の大切さについて改めて考える機会となるものと思います。

どうぞ、最後までご静聴をお願いいたします。

おわりに、本事業の開催にご尽力くださいました、角山委員長をはじめとする実行委員会の皆様と、本事業の主旨をご理解いただいた市民並びに全国の皆様にご心から感謝を申し上げるとともに平和の輪がさらに大きく広がることを祈念いたしまして、私のあいさつといたします。

平成25年8月6日
 大分市長 釘宮 馨

3 平和の礎



基本情報

所 在 : 霜凝神社
住 所 : 大分県大分市大字下郡北2-8-11
(JR牧駅 徒歩20分)
建 立 者 : 野崎直
建 立 年 : 平成7年12月
連 絡 先 : 不明

碑 文

【表】

平和の礎

【裏】

この碑は大分市北下郡四組 野崎直氏 (七十八才)
によって建立されたものである
平成七年十二月吉日建之

【台座表】

碑 文

わが国は 昭和六年満州事変に始まり日支事変 そして
昭和十六年十二月八日には太平洋戦争へと突入した 戦争
は次第に激化し下郡地区からも百五十余名の若者が当霜凝
神社から 皆に送られて戦場へと赴いた

当時は下郡は戸数僅か二百五十余戸 その中から五十余名
の若者が 祖国の安泰と郷土の繁栄を念じつつ貴い命を捧
げ帰らぬ人となった また米軍機の本土空襲によって下郡
地区にも爆弾・焼夷弾が投下され 無残にも直撃弾を受け
爆死した方も出る等多くの被害を受けた 誠に痛恨の極み
である

昭和二十年八月終戦を迎えたが 戦後五十年を経過した
今日 戦争を知らない世代の増加と 経済発展のもたらす
豊かな生活は この悲惨な戦争体験を忘却させようとして
いる

我々が今日享受する自由で平和な日々は これら戦没者
の貴い犠牲によることを決して忘れてはならない

この平和の礎となられた方々を後世に伝えることは 残
された者の責務と考える

戦後五十年の節目に当り犠牲者の遺徳を偲び 恒久の平
和を希求する証しとして 犠牲者の名前を刻した記念碑を
霜凝神社境内に建立することとした

願わくは この「平和の礎」が永遠の平和と繁栄に役立
つことを念願する次第である

【台座左側面】

北下郡戦没者
(故人名)

【台座裏面】

建設委員

北下郡町内会長 (個人名)

南下郡町内会長 (個人名)

下郡郡 宮総代 (個人名)

南下郡 宮総代 (個人名)

北下郡遺族会
世話人 (個人名)

南下郡遺族会
世話人 (個人名)

霜凝神社
宮司 (個人名)

4 戦没学徒慰霊碑



※写真提供 保戸島小学校

基本情報

所 在：津久見市立保戸島小学校・中学校体育館前
 住 所：大分県津久見市保戸島21-2
 （津久見港より定期船にて保戸島港 徒歩10分）
 建 立 者：児童遺族会
 建 立 年：昭和53年7月
 連 絡 先：津久見市立保戸島小学校 0972-87-2002

碑 文

【表】

戦没学徒慰霊碑

【裏】

昭和二十年七月二十五日米軍機

爆撃に会い現地にて殉難

昭和五十三年七月吉日

児童遺族会建之

5 保戸島国民学校戦災殉難者追善法要



※写真提供 保戸島小学校

開催概要（平成25年度）

歳事名：保戸島国民学校戦災殉難者追善法要
 会場：海徳寺
 住所：大分県津久見市大字保戸島1465
 （津久見港より定期船にて保戸島港 徒歩2分）
 日時：平成25年度7月25日（木） ※例年7月25日開催
 参列者数：約60人
 連絡先：海徳寺 0972-87-2048

式次第（平成25年度）

1. 追善法要
2. 読経
3. 表白
4. 読経…参拝者焼香
5. 平和誓いの念仏…参拝者全員

概要

太平洋戦争末期、昭和20年7月25日、大分県北海部郡保戸島国民学校に米空軍グラマン戦闘機3機が突如飛来、無心に勉強に勤む授業中の学舎を直撃、1年生と5年生全員と他学年生数名、教師2名、教師の幼児1名、計127名の尊い命が犠牲となった。

この悲劇は、世界の戦争においてもあまり例の無い、白昼に学舎を襲う残酷無比の無差別爆撃の殺戮であり、この惨禍は全ての生命を否定し人類の滅亡と文明の終焉をもたらすものと強く認識する。

今こそ、私共念仏者は宗祖法然上人の万民平等救済の教えを心にし、犠牲者の霊前に戦争を悔い、世界の平和と人類の福祉増進を誓い、この悲劇を決して風化させぬよう、毎年追善法要を奉修しています。

海徳寺 住職

6 小田三郎先生をしのぶ



基本情報

所 在： 陽谷城址
住 所： 大分県速見郡日出町2610-1
(JR陽谷駅 徒歩5分)
建 立 者： 小田訓導顕彰碑建設委員会
建 立 年： 昭和49年7月28日
連 絡 先： 日出町観光協会 0977-72-4255

碑 文

【表】

小田三郎先生をしのぶ
陽邸書

【裏】

建碑のことは

故小田三郎先生は明治四十二年七月四日安岐町に生れる昭和四年大分県師範学校卒業爾來教職に精進し昭和十三年四月日出尋常高等学校に転じて七年有半歳至誠一貫教育に専念指導力拔群教子あげて慈父と仰ぐ不幸にも終戦直前の昭和二十年七月二十八日の空爆により校庭下防空壕の前で御殉職享年三十七才本年三十回忌にあたり先生の御遺徳を讃え御冥福を祈る為教子知友と共にこの碑を建てる。
昭和四十九年七月二十八日
小田訓導顕彰碑建設委員会

宮 崎 県

1 天神山の戦災者慰霊碑



※写真提供 明るい社会づくり運動宮崎市推進協議会

基本情報

所 在：天神山公園
 住 所：宮崎県宮崎市天満町227-外
 （JR宮崎駅より 宮崎交通バス「大淀中前」下車 徒歩2分）
 建 立 者：宮崎市戦災死没者遺族会
 建 立 年：昭和42年8月9日
 連 絡 先：明るい社会づくり運動宮崎市推進協議会 0985-48-0220

碑 文

【表】

永久に安らかに

【裏】

昭和十六年十二月八日 真珠湾に端を発した大東亜戦争のその末期は日本本土も戦場と化し、日毎に敵機の来襲を受け、一般市民にも犠牲者を出すに至った。宮崎市に於ても戦災死を遂げた者、老若男女合せて百余名。

戦後二十年 残された遺族八十余名は今は亡き肉親の不憫を想い、昭和三十九年十二月廿二日遺族会を結成し、浄財を集め戦災死没者の冥福を祈ると共に永久平和の願をこめた慰霊の碑をここに建立したるものなり。

死没者名

(故人名)

2 宮崎市戦災死没者慰霊祭



※写真提供 明るい社会づくり運動宮崎市推進協議会

開催概要（平成25年度）

歳事名：宮崎市戦災死没者慰霊祭
 会場：天神山公園内 天神山の戦災者慰霊碑前
 住所：宮崎県宮崎市天満町227-外
 （JR宮崎駅より 宮崎交通バス「大淀中前」下車 徒歩2分）
 日時：平成25年7月28日（日） ※例年7月最終日曜日開催
 参列者数：約50人
 連絡先：明るい社会づくり運動宮崎市推進協議会 0985-48-0220

式次第（平成25年度）

1. 開式のことば…副会長 仲原義之
2. 奉献の儀…立正佼成会少年部
3. 神事…祭主宮崎天満宮宮司 中原捷博様
4. 献花…前本和男 明るい社会づくり運動宮崎市推進協議会会長、来賓、遺族、一般参列者
5. 主催者代表挨拶…主催者代表 前本和男
6. 慰霊のことば…来賓代表 戸敷正
7. お礼のことば…遺族会代表 山下均
8. 閉式のことば…副会長 松元道文

慰霊のことば（平成25年度）

明るい社会づくり運動宮崎市推進協議会主催による、宮崎市戦災死没者慰霊祭が執り行われるにあたり、謹んで慰霊のことばを申し上げます。

先の大戦が終わりを告げてから、今年で六十八年になります。我が国は、終戦の混乱から立ち直り、国際社会に貢献する、熟成した平和国家となりました。わが宮崎市も、合併後、四十万都市となり、安心して住み続けることのできるまちとして発展し続けています。

しかしながら、現在、私たちが当たり前のように享受しております平和と繁栄が、戦争により命を落とされた多くの方々の尊い犠牲の上に成り立っているという事実を決して忘れてはなりません。この平和と繁栄を未来永劫に守りぬいていくためにも、この事実を風化させることなく、次の世代に語り継いでいくことは、今を生きる私たちに課せられた重要な使命であります。

ともすれば、あの悲惨な戦禍の記憶が忘れられがちな現代、明るい社会づくり運動宮崎市推進協議会におかれまして、この厳粛な慰霊祭を実施されますことは、誠に意義深く、主催者に対しまして、心から敬意を表すものでございます。

本日の慰霊祭の開催にあたり、二度と戦争の惨禍を繰り返さないとの決意を新たにするとともに、戦争のない平和な世の中の実現に向け、一層の努力をいたしますことを、固くお誓い申し上げます次第でございます。

ここに百十柱の御霊のご冥福をお祈り申し上げ、合わせてご遺族の皆様方のご多幸を心から祈念いたしまして、慰霊のことばといたします。

平成25年7月28日
 宮崎市長 戸敷 正

3 都城空襲犠牲者追悼碑



※写真提供 都城市

基本情報

所 在：神柱公園内 忠霊塔広場
 住 所：宮崎県都城市小松原町1146-16
 （JR都城駅 徒歩10分）
 建 立 者：都城空襲犠牲者遺族会
 建 立 年：平成11年8月5日
 連 絡 先：都城空襲犠牲者遺族会 0986-38-2500

碑 文

【表】

都城空襲犠牲者
追悼碑

【裏】

（故人名）

碑文

第二次世界大戦の末期、米軍は沖縄本島への上陸に先立ち、南九州全域の軍事施設を攻撃した。都城は昭和二十年三月十八日早朝初めて空爆され、以降終戦まで二十回余の無差別爆撃によって、街は廃墟と化し多くの尊い人命が奪われた。街は戦後いち早く復興したが、空襲犠牲者については半世紀余も放置されてきた。戦後五十年の行事を通し「空襲犠牲者の掌握なしに、都城の戦後は終わらない」と、調査がはじまった。治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟県南支部と都城市の積極的なとりくみによって、四十四名の子供をふくむ八十八名の犠牲者が判明した。

ここに、心から犠牲者を悼むとともに、恒久平和を誓い、追悼碑を建立する。

平成十一年八月五日

都城空襲犠牲者遺族会

4 都城空襲犠牲者追悼会



※写真提供 都城市

開催概要（平成25年度）

歳事名：都城空襲犠牲者追悼会
 会場：神柱公園内 忠霊塔広場
 住所：宮崎県都城市小松原町1146-16
 （JR都城駅 徒歩10分）
 日時：平成25年8月5日（月） ※例年8月5日開催
 参列者数：約70人
 連絡先：都城空襲犠牲者遺族会 0986-38-2500

式次第（平成25年度）

1. 開会のことば
2. 犠牲者名・碑文朗読
3. 黙 祷
4. 神 事
5. 玉 串 奉 典
6. 遺族会代表挨拶…都城空襲犠牲者遺族会代表世話人
7. 来賓あいさつ…都城市長
8. 来賓あいさつ…都城市議会議長
9. 作文朗読・合唱…市内小学校児童
10. 閉会のことば…都城空襲犠牲者遺族会相談役
11. 記念写真撮影

挨拶（平成25年度）

都城空襲犠牲者遺族会を代表致しまして、一言お礼のご挨拶を申し上げます。

都城市当局を始め、市民の皆様のご協力により建立して頂いた空襲犠牲者追悼碑の前で、第十五回目の追悼会を開催する事が出来ます事をあらためて感謝するものであります。

本日は、来賓として池田都城市長様、楡田市議会議長様、酒匂教育長様のご出席を頂いております。ご多忙の中、心から御礼申し上げます。

又、遺族の皆様も遠方から福岡県、鹿児島県、宮崎市、小林市、各遠方からの御出席を頂き、誠に御苦労さまでございます。

日本は昭和十六年、十二月八日、アメリカ国との間に太平洋戦争がはじまり、昭和二十年八月十五日、終戦まで三年八カ月の大戦の結果、日本は沖縄を始め、国内各地空襲を受けて、想像を絶する多大な被害を受けて敗戦国となりました。

B29大型爆撃機から昭和二十年、八月六日に広島に原子爆弾が投下された同じ日に、都城市内もグラマン戦闘機、他中型爆撃機から大空襲を受けて市内は廃墟となり多くの人たちが犠牲になりました。

小学四年生だった私はあの時の空襲の恐ろしかった事は生涯忘れる事はできません。

終戦から六十八年目の夏を迎えた日本は今、大変平和な国になりました。しかし今も世界の各地で争いが続いております。

あの悲惨な戦争は二度とおこしてはならない、平和な日が続く事を祈ります。

本日の追悼式に都城市立西小学校の築山教頭先生の引率の元で、戦争を知らない若い世代の六年生、十二名が出席していただき、平和であることの喜び等について作文を朗読して頂くことになっております。

六年生の皆さんよろしくお願い致します。

戦後六十八年経過してお互いに高齢になりました。どうか遺族の皆様方も健康に留意され、いつもでもお元気であります様、ご祈念申し上げます。

市当局福祉課の皆様には追悼会の設営等到大変お世話になり誠に有難うございます。

最後に犠牲者のご冥福をお祈り致しまして、挨拶にかえさせていただきます。

平成25年8月5日
 都城空襲犠牲者遺族会
 遺族代表 地頭所 栄八

5 都城市戦没者・空襲犠牲者合同追悼式



※写真提供 都城市

開催概要（平成25年度）

歳事名：都城市戦没者・空襲犠牲者合同追悼式

会場：都城市総合文化ホール 大ホール

住所：宮崎県都城市北原町1106-100

（JR都城駅 徒歩3分）

日時：平成25年8月6日（火） ※例年8月6日開催

参列者数：約740人

連絡先：都城市 福祉部福祉課 地域福祉担当 0986-23-2980（直通）

式次第（平成25年度）

1. 開 式
2. 黙 とう
3. 追 悼 の 辞…主催者：市長
4. 追 悼 の 辞…来賓：県知事
5. 献 花
6. 千 羽 鶴 献 納…都城市立西小学校 児童代表
7. 来 賓 あ い さ つ…市議会議長、衆議院議員、参議院議員
8. 遺 族 代 表 あ い さ つ…都城市遺族連合会会長
9. 次世代につながる言葉…「平和へのメッセージ」（都城市立西小学校児童）
10. 閉 式

追悼の辞（平成25年度）

本日ここに、御遺族や御来賓の皆様のご参列をたまり、本市の戦没者、殉職者7、232柱ならびに戦災死没者101柱の合同追悼式を挙げるにあたり、謹んで哀悼の誠を捧げ、心からご冥福をお祈り申し上げます。

顧みますと、昭和20年の終戦から68年の歳月が流れ、また、本日、8月6日は、本市が大空襲を受け、市街地の大半が焦土と化した悲惨な歴史を刻んだ日でもあります。御遺族の皆様のご深い悲しみは、決して消えることなく、その心情を拝察いたしますとき、お慰めのことばもございません。

私たちが今日、享受している平和と繁栄は、明治以降の幾多の国難に際し、国内外において散華され、また、公共の安寧のために殉職されました英霊諸氏の尊い犠牲の上に築かれたものであります。

私情を顧みず、ひたすら祖国の隆盛と国民の安泰を念じつつ、大義に生きられたその崇高なる御意志に、深い感銘を覚えます。

また、かけがえのない肉親を亡くされ、多くの苦難に立ち向かい、家族を守り、今日まで歩いてこられた御遺族皆様方の努力の賜物であります。その御労苦に対し、衷心より敬意を表する次第であります。

本日は、西小学校の児童代表の皆様も参列してくれておりますが、今のこの時代は、国民の大半が戦争の悲劇を知らずに育った世代であります。

未来永劫、悲しみの歴史を繰り返すことのないよう、過去を謙虚に振り返り、悲惨な戦争の教訓を風化させることなく、平和への不断の努力を続けてまいりますことをここにお誓い申し上げます。

結びに、戦没者、空襲犠牲者各位の御霊が、永遠に安らかでありますこと、そして、今後とも、わが郷土、都城の繁栄と平安を見守りくださることを願い、併せて御遺族をはじめ、御参列の皆様方の御健勝と、御多幸を祈念申し上げ、追悼のことばといたします。

平成25年8月6日

都城市長 池田 宜永

6 延岡市戦没者合同慰霊祭



※写真提供 延岡市

開催概要（平成25年度）

歳事名：延岡市戦没者合同慰霊祭 ※一般戦災死没者を含む
 会場：延岡市公会堂 野口記念館
 住所：宮崎県延岡市東本小路119-1
 （JR延岡駅より 宮崎交通バス「九電前」下車 徒歩15分）
 日時：平成25年4月5日（金） ※例年4月5日開催
 参列者数：300人
 連絡先：延岡市 総務部 総務課 0982-22-7006（直通）

式次第（平成25年度）

1. 開式のことば
2. 国歌斉唱
3. 黙 祷
4. 追悼のことば…延岡市戦没者合同慰霊祭奉賛会会長（延岡市長）、
延岡市議会議長、延岡市遺族連合会会長、宮崎県知事（代理）
5. 献 花
6. 献 奏
7. 閉式のことば

追悼のことば（平成25年度）

本日ここに、御遺族並びに御来賓の皆様多数ご出席のもと、延岡市戦没者合同慰霊祭を執り行うにあたりまして、戦没者の方々の御霊に対し、謹んで追悼のことばを捧げます。

時の流れは早く、数多くの尊い命が失われた先の大戦から、67年の歳月が過ぎ去りました。苛烈を極めました戦闘の中で、愛する家族を案じつつ戦場に倒れた方々、激しい空襲によって命を落とされた方々、そして戦後、遠く離れた異郷の地で無念にも最期を遂げられた方々に思いを馳せるとき、今なお悲痛の思いが胸に込み上げてまいります。

ここにあらためて戦争による犠牲者の方々のご冥福を、心からお祈り申し上げます。また、ご遺族の皆様方におかれましては、最愛の肉親を失い、癒されることのない深い悲しみを背負いながら、数々の苦難を乗り越えてこられました。皆様のそのご労苦に対しまして、深甚なる敬意を表する次第でございます。

さて、私たちの郷土延岡も、今年、市制施行80周年という節目の年を迎えました。また、本市にとりまして、今がまさしく高速道路時代における地域間競争を勝ち抜くための正念場であります。

この八十周年を本市のさらなる発展への契機とし、これからも、高速道路時代における新しい延岡づくりに、市民の皆様とともに全力を挙げて取り組んでまいりたいと考えております。

終戦から67年が経過した今、我が国では戦後生まれの世代が多くを占めることとなり、先人たちが築き上げた繁栄を甘受する中で戦争の記憶の風化が懸念されており、また、世界の各地では、今なお戦争により多くの人々が犠牲者となり、肉親や祖国を失うという惨劇が繰り返されております。

延岡市に暮らす私たちは、このような状況の中、散華された方々の思いを深く心に刻み、二度と戦争の惨禍を繰り返すことのないよう平和への誓いを新たにいたすところでございます。

むすびに、戦没者の方々の御霊が、とこしえに安らかならんことをお祈り申し上げますとともに、御遺族の皆様御健勝と御多幸を祈念申し上げて、追悼のことばといたします。

平成25年4月5日
 延岡市戦没者合同慰霊祭奉賛会
 会長 首藤 正治

7 太平洋戦争延岡空襲殉難碑



基本情報

所 在：今山公園内 弘法大師像前
 住 所：宮崎県延岡市山下町2-3998
 （JR延岡駅 徒歩15分）
 建 立 者：延岡空襲殉難碑建立委員会
 建 立 年：昭和53年6月29日
 連 絡 先：今山大師 0982-32-5290

碑 文

【表】

太平洋戦争
 延岡空襲殉難碑

【裏】

昭和十六年十二月八日勃発した太平洋戦争はわが軍の 真珠湾奇襲作戦により 前半には勝利をおさめたが 米軍の物量と科学戦による攻撃で逆転 昭和二十年八月十五日遂にわが国の敗戦に終わったこの間本土への空襲は激化し軍需工場群を擁した延岡市に於いても二十年三月四日から終戦前日まで十数回の空襲をうけ とくに二十年六月二十九日午前一時十五分から三時間にわたるB29爆撃機四十余機による油脂焼夷弾攻撃は投下約五十万発 市中心部は一瞬のうちに火の海になり その劫火の中を市民は阿鼻叫喚辛うして五ヶ瀬大瀬河原に避難したが まさに戦争が生んだ悲劇であった恐怖の一夜が明けると市街地の大半は一木も残さず焼きつくされ一望焦土と化しているのを市民は茫然と眺めながら肉親をもとめて右往左往するのみであった この焼夷弾攻撃による被害は別記の通りであるが 銃後を護る市民をはじめ学徒挺身隊 産業報国隊など非戦闘員の殉難者は実に三百名を越えた 終戦后三十三年を経た今日各方面の浄財によって 新しくこの延岡空襲殉難碑を建立その霊を弔うとともに悲惨なる戦争の絶滅を期し世界の永久平和を祈念するものである

昭和五十三年六月二十九日
 延岡空襲殉難碑建立委員会

【裏下部】

延岡市の戦災に於ける損害

戦災死者 三百余名
 重軽傷者 多 数
 戦災面積 九十二万坪（三千四十一平方軒）
 被災人口 一萬五千二百三十二人 当時の人口
 （七萬二千六百人）
 被災戸数 三千七百六十五戸 当時の戸数
 （一萬四千三百）

戦災地域

川中地区 新町 柳沢町 本町 南町 中町
 北町 船倉町 天神小路 並に本小路
 櫻小路の一部
 川北地区 紺屋町 元町 博労町 祇園町の東側
 瀬之口 並に萩町 北小路の一部
 恒富地区 川原町 春日館通り 第二下出口
 三ツ瀬 新小路 並に出口 西小路
 本村の一部
 南方地区 大貫の一部
 軍需工場 日室化学工業株式会社
 （薬品部 ベンベルグ部 プラスチック部
 雷管部 レーヨン部 ダイナマイト部）
 間野航空株式会社等に被害甚大
 橋 梁 五ヶ瀬橋 須崎橋 大瀬橋の各一部焼失
 恒富地区南方地区の水田に焼夷弾多数投下

西口玄豊謹書
 施工者 福原明

8 延岡空襲殉難慰霊祭



開催概要（平成25年度）

歳事名：延岡空襲殉難慰霊祭
 会場：今山公園内 弘法大師像前広場
 住所：宮崎県延岡市山下町2-3998
 （JR延岡駅 徒歩15分）
 日時：平成25年6月29日（土） ※例年6月29日開催
 参列者数：50人
 連絡先：今山大師 0982-32-5290

式次第（平成25年度）

1. 黙祷
2. 殉難者諸精霊位回向法要
3. 参列者焼香・献花（遺族、わかば幼稚園児20名、他）
4. 今山大師住職挨拶
5. 遺族代表謝辞

挨拶（平成25年度）

昭和20年6月29日未明の米軍大空襲によって犠牲となられた30
 0余霊位の御霊は、戦後68年の今日尚、弥陀浄土よりわが故郷とご遺族
 ご一家に対して平和の光をさん然と照らして下さいます。謹んで諸霊
 に報恩感謝の誠を捧げます。

そして、この慰霊法要は、未来永劫にわたって継承し世界の恒久平和を
 誓い、重ねてそのご加護を仰ぎ申し上げます。

9 命の橋



基本情報

所 在 : 安賀多橋北詰 延岡商工会議所前
 住 所 : 宮崎県延岡市中央通3丁目
 (JR延岡駅 徒歩16分)
 建 立 者 : 「命の橋」座石建立の会、延岡市「命の橋」実行委員会
 建 立 年 : 平成25年2月11日
 連 絡 先 : 今山大師 0982-32-5290

碑 文

【表】

命の橋

【裏】

「命の橋」

太平洋戦争末期の昭和二十年（一九四五年）

六月二十九日に、延岡市内の中心部は
 大空襲によって焼け野原となりました。

その時、安賀多橋の下へ多数の
 市民が逃げ込み助かりました。

この橋はまさに命の恩人です。

この度、延岡市制施行八十周年を

記念して安賀多橋を

「命の橋」として顕彰し、永久に

平和の尊さを後世に伝えたいと思います。

平成二十五年二月十一日

建立者 「命の橋」座石建立の会

延岡市「命の橋」実行委員会

表題揮毫 植野聖鳳

撰 文 吉田千鶴子

石材寄贈 (有)林田石材

10 日南市戦没者追悼式



※写真提供 日南市

開催概要（平成25年度）

歳事名：日南市戦没者追悼式 ※一般戦災死没者を含む
 会場：日南市文化センター
 住所：宮崎県日南市中央通1-7-1
 （J R 日南駅 徒歩3分）
 日時：平成25年8月18日（日） ※例年8月第3日曜日開催
 参列者数：約400人
 連絡先：日南市戦没者追悼奉賛会事務局（日南市 福祉課） 0987-31-1130

式次第（平成25年度）

1. 開 式
2. 国 家 斉 唱
3. 黙 と う
4. 式 辞…日南市長 崎田恭平
5. 追 悼 の 辞…宮崎県知事、県選出国會議員、日南市議會議長、日南市遺族連合会代表
6. 来 賓 紹 介
7. 誓 い の こ と ば…日南市立油津中学校 生徒会長
8. 献 花
9. 主催者あいさつ…日南市戦没者追悼奉賛会 副会長
10. 閉 式

式 辞（平成25年度）

本日ここに、戦没者ご遺族並びに多数のご来賓の皆様のご列席のもと、平成25年度 日南市戦没者追悼式を挙げるに 当たり、市民を代表しまして式辞を申し述べます。

多くの尊い命が失われた先の大戦が終わりを告げてから、68年という年月が過ぎ去りました。

祖国の平和と発展、そして何よりも家族の安泰を念じながら、戦禍に倒れ、あるいは、愛する家族を思いながらも再び郷土の地を踏むことなく、遠い異国の地で多くの方が、亡くなられました。

ここに改めて、戦没者の皆様のご冥福を心からお祈り申し上げます。

また、最愛の肉親を失った悲しみに耐え、苦難を乗り越えられたご遺族の皆様には深く敬意を表します。

私たちは今、当たり前のように享受している平和と繁栄は、戦争によって心ならずも命を落とされた戦没者の方々の重く尊い犠牲の上に築きあげられてきたものです。

本市は、新日南市誕生1周年にあたる平成22年に、美しい自然や平和な未来を後世に残していくため、あらゆる国の人々の相互理解と協調による核兵器のない平和な世界の実現に向けて努力することを決意し、非核平和都市宣言をいたしました。

戦争を知らない私たち若い世代は、過去の悲惨な戦争の教訓を風化させることなく、しっかりと受け継いでいき、さらに次の世代へと語り継ぎ、平和を築いていくことが、現代を生きるものに課せられた責務であり、使命であります。

本日、戦没者各位の御霊を前にして、私たちは先の大戦から学び取った多くの教訓を忘れることなく、世界の恒久平和を願うとともに、戦没者の方々の祖国発展への思いを深く心に刻み、青い海と緑の山々に囲まれた自然豊かな日南の、この恵まれた自然環境を基礎とし、先人が築いてこられた伝統・文化を生かしながら、本市の活性化を図り、市民の皆様とともに、誇りある郷土を創り上げてまいります。

そして、郷土日南市の繁栄と、平和で安心して心豊かに生活できる社会を築くために全力を尽くすことを固くお誓い申し上げます。

終わりに、日南市の戦没者2,601柱の御霊がとこしえに安らかに鎮まりますことをお祈りいたしますとともに、ご遺族並びに ご参列の皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。式辞といたします。

平成25年8月18日
 日南市長 崎田 恭平

鹿 児 島 県

1 太平洋戦争民間犠牲者慰霊碑「人間之碑」



基本情報

所 在：みなと大通り公園
住 所：鹿児島県鹿児島市名山市
(JR鹿児島中央駅より 鹿児島市電「市役所前」電停 徒歩4分)
建 立 者：鹿児島市、南日本新聞社
建 立 年：昭和49年6月17日
連 絡 先：鹿児島市 地域福祉課 099-216-1244 (直通)

碑 文

【表】

太平洋戦争
民間犠牲者慰霊碑

戦災により
非命にたおれた
はらからの
痛恨をおもい
あすのために
この碑を建つ

昭和四十九年六月十七日
鹿児島市市長 末吉利雄
南日本新聞社 社長 川越政則

【裏】

この碑は 鹿児島市と南日本新聞社が
戦災三十周年を記念して鹿児島県内外の
同県関係篤志団体七十八 篤志家二百五
十四人の協力を得て建立したものである

彫像制作者 新制作教会会員 児島幸雄
台石寄贈者 鹿児島県石材工業協同組合
理事長 米盛弘修

2 太平洋戦争民間犠牲者慰霊碑「人間之碑」への献花



開催概要（平成25年度）

歳事名：太平洋戦争民間犠牲者慰霊碑「人間之碑」への献花
 会場：みなと大通り公園内 太平洋戦争民間犠牲者慰霊碑 人間之碑前
 住所：鹿児島県鹿児島市名山町
 （JR鹿児島中央駅より 鹿児島市電「市役所前」電停 徒歩4分）
 日時：平成25年6月17日（月） ※例年6月17日開催
 参列者数：約90人
 連絡先：鹿児島市 地域福祉課 099-216-1244（直通）

式次第（平成25年度）

1. 開 会
2. 黙 と う
3. 献 花…鹿児島市 総務部長、鹿児島市 福祉部長
一般参列者
4. 閉 会

概 要

太平洋戦争民間犠牲者慰霊碑「人間之碑」への献花について

太平洋戦争において、本市では、昭和20年3月18日から8月6日まで合計8回にわたって空襲を受けており、中でも6月17日は死者2,316人を数える最も多くの犠牲者を出している。

そのため、最も大きな被害を受けたこの日に犠牲者の慰霊を申し上げるとともに、戦争の悲惨さと平和の尊さを再認識していただく意味で、献花を行っているところである。

出典：鹿児島市より

3 鹿児島市立女子興業学校の碑



基本情報

所 在： 共研公園
住 所： 鹿児島県鹿児島市中央町14
（JR鹿児島中央駅 徒歩6分）
建 立 者： 鹿児島女子高等学校同窓会 帰厚会
建 立 年： 平成16年6月17日
連 絡 先： 鹿児島女子高等学校同窓会 帰厚会 099-224-4826

碑 文

【慰霊碑右・表】

雪に耐えて
梅花麗し

鹿児島市長書

鹿児島市立女子興業学校跡地
現 鹿児島女子高等学校
明治四十四年鹿児島市易居町から上之園町に移転
昭和二十年六月十七日の鹿児島大空襲により焼失
三十五年間の学び舎としての幕を閉じる

【慰霊碑左・表】

太平洋戦争の犠牲になられし
学友の悲痛な叫び
後の世まで忘るまじ

ああ あれから五十有余年
御霊よ 安らかなれと祈る

平成十六年六月十七日
創立百十周年記念事業
鹿児島女子高等学校同窓会帰厚会建立

【モニュメント・表】

鹿児島市立女子興業学校の跡

4 鹿児島市立女子興業学校 慰霊祭



開催概要（平成25年度）

歳事名：鹿児島市立女子興業学校 慰霊祭
会場：共研公園内 鹿児島市立女子興業学校の碑前
住所：鹿児島県鹿児島市中央町14
（JR鹿児島中央駅 徒歩6分）
日時：平成25年6月17日（月） ※例年6月17日開催
参列者数：約20人
連絡先：鹿児島女子高等学校同窓会 帰厚会 099-224-4826

式次第（平成25年度）

1. 開 式
2. 黙 と う
3. 宮司によるお祓い
4. 玉 串 奉 納
5. 会 長 の 挨拶…鬼丸正子会長
6. 空襲の体験談…別府典子

体験談（平成25年度）

空襲の体験談 別府典子

昭和20年、私は当時18歳、鹿児島女子興業学校の専攻科の生徒として学校の寮に入っていました。3月、4月、5月と空襲はだんだんと激しくなり、私たちが防空壕に入る機会は多くなりました。

忘れもしません、6月17日、夜中の11時頃。異様な音と雰囲気の中、私は目を覚めました。空襲でした！すぐに飛び起きた私は寮の部屋から出ると裸足のまま学校の中庭に降りました。学校の門から外を眺めると既に下町の家々には火の手が上がっていました。

当直の先生からの指示で私は校庭のある防空壕に入りました。中は真っ暗でした。私に続き、鶴田さんという子が入ってきました。2人で身をかがめていると防空壕の入口の隙間から火の粉が入り込んできました。私たちは必死でそれを払いのけましたが、燃え上がる炎は容赦なく襲ってきました。時間が過ぎるのも忘れ、火の粉を払い続けました・・・

気がつくと夜が明けていました。私は鶴田さんの姿を見て驚きました。彼女は変わり果てた姿になっていたのです。お下げ髪はすっかり焼け焦げ、目の玉は真っ赤になり開きません。足は火傷で膨れ上がり、真っ黒になっていました。そして、両腕の皮が肘の方から裂けて手元にぶらさがっており、肉が見えていました。私はハッと息を飲み、言葉も出ませんでした。そんな鶴田さんから「水がほしい、水がほしい・・・」と求められ、必死に水を探しましたが、学校の水槽は無情にも空でした。私は彼女のもとに戻り、「ごめんね、水はなかった」と言うのがやっとでした。鶴田さんはそれから間もなくして亡くなりました。

（中略）

私はこの碑を作るために東奔西走し、帰厚会として平成16年によく建立が実現しました。戦争が終わり70年近く経ちますが、こうして慰霊碑の前に立つとあの時の鶴田さんの姿をまざまざと思い出します。戦争は絶対に繰り返してはいけません。若い乙女の命を奪った戦争のむごさや怖さを、私は後輩や子どもたちに伝えていく責任があります。

※当日の原稿がないため、本人のお話をもとに再構成

5 広馬場通り戦災鎮魂慰霊の碑



基本情報

所 在：堀江町 山形屋パーキング前
住 所：鹿児島県鹿児島市堀江町1-1
(JR鹿児島中央駅より 鹿児島市電「いづろ通」電停 徒歩2分)
建 立 者：広馬場通り戦災鎮魂慰霊の会
建 立 年：平成16年6月18日
連 絡 先：株式会社まからず屋 099-224-2244

碑 文

【表】

広馬場通り
戦災鎮魂慰霊の碑

碑 文

昭和二十年六月十七日、太平洋戦争の終戦を間近に控え、鹿児島市は大空襲により甚大な被害を受けました。市街地中心部の堀江町広馬場通りの三ヶ所の防空壕において、戦災死した春成直助一家七人をはじめ、多くの戦争犠牲者の無念の霊魂は、浮かべられることなく、歳を経るごとに、風化されようとしています。

沈吟、空しうして慟哭悲嘆、寂々哀愁憐れむべし。

我ら志あるものが、慰霊の誠を捧げ命の尊さを訴え、永遠の平和を願う尊い一灯を点じたく、ここに鎮魂の碑を建立します。

平成十六年六月十八日
広馬場通り戦災鎮魂慰霊の会
代表 春成幸男
(社団法人三州倶楽部会長)
春成幸男 書

【裏】

鎮 魂

春成幸男 書

6 広馬場通り戦災鎮魂慰霊祭



開催概要（平成25年度）

歳事名：広馬場通り戦災鎮魂慰霊祭
 会場：山形屋パーキング前 広馬場通り戦災鎮魂慰霊の碑前
 住所：鹿児島県鹿児島市堀江町1-1
 （JR鹿児島中央駅より 鹿児島市電「いづろ通」電停 徒歩2分）
 日時：平成25年6月18日（火） ※例年6月18日開催
 参列者数：38人
 連絡先：株式会社まからず屋 099-224-2244

式次第（平成25年度）

1. 鹿児島市長 メッセージ
2. 代表者挨拶
3. 代表者献花
4. 「堀江町と慰霊碑」 堀江町町内会長

メッセージ（平成25年度）

広馬場通りの戦災鎮魂慰霊祭が、関係の皆様方多数お集りのもと、厳かに執り行われるにあたり、謹んで御霊のご冥福を心からお祈り申し上げます。

この慰霊碑は先の大戦の空襲により、堀江町広馬場通りで犠牲となられた、二百余名の御霊を慰霊するために建立されたものであるとお聞きしております。

その先人の遺徳を偲び、生命の尊さを訴え、戦争の悲惨さと平和の大切さを後世に語り継ぐことは、誠に意義深いことであると思います。

私どもは、いま一度、悲惨な戦争の教訓を心に刻み、不戦の誓いを新たにし、世界の恒久平和と、より明るく豊かな郷土を築き上げるため、一層の努力を傾倒いたす所存でございます。

終わりに慰霊祭の開催にご尽力いただいております皆様に、深く敬意を表しますとともに、お集まりの皆様方のますますのご健勝とご多幸を心からお祈りいたします。

平成25年6月18日

鹿児島市長 森 博幸

7 慰霊碑



基本情報

所 在： J R鹿児島駅 旧5番ホーム ※ J R鹿児島駅構内につき入場券が必要
住 所： 鹿児島県鹿児島市浜町2-35
(J R鹿児島駅 駅構内)
建 立 者： 遺族一同、当時の鹿児島駅関係者一同、鹿児島駅職員一同
建 立 年： 昭和52年12月25日
連 絡 先： 九州旅客鉄道株式会社 鹿児島支社 広報 099-256-0165

碑 文

【表】

慰霊碑

第二次世界大戦の末期 昭和二十年
六月二十七日十二時四十五分 敵機の
大空襲によって鹿児島駅は壊滅した
このとき職場を護り尊い犠牲となられ
た十二名の霊を慰めるため 三十三回
忌にあたって関係者一同相計り被爆の
地にこれを建立する

殉職者

(故人名)

昭和五十二年十二月二十五日

殉職者遺族一同

被爆当時の鹿児島駅関係者一同

鹿児島駅職員一同

8 慰霊塔



※写真提供 西之表市

基本情報

所 在：西之表市（種子島）わかさ公園
住 所：鹿児島県西之表市西之表14415
（西之表港 徒歩20分）
建 立 者：西之表町長 西村健夫（西之表市長 榎本修 再建）
建 立 年：昭和30年11月1日（平成3年11月2日 再建）
連 絡 先：西之表市 0997-22-1111（代表）

※一般戦災死没者を含む

碑 文

【表】

慰霊塔

経 緯

種子島は、1945（昭和20）年3月18日に艦載機（グラマン）延べ12機が西之表地区を銃爆撃（死亡3、負傷9、行方不明13、住家全焼62棟、非住家全焼13棟）し、以後10回を超える空襲で西之表の市街地の大部分が被災し、浦田、安納、伊閑、現和、住吉などの島内の集落が銃爆撃された。

4月、全島の国民学校児童は、2年から6年生全員、海を渡って九州本土の鹿児島、熊本県境の伊佐・大口方面に疎開を開始した。この間に疎開の船待ち中の野間国民学校の児童3人がB24の爆撃で負傷した。

出典：西之表市編集委員会著「西之表市百年史」より

9 西之表市戦没者追悼式



※写真提供 西之表市

開催概要（平成25年度）

歳事名：西之表市戦没者追悼式 ※一般戦災死没者を含む
会場：わかさ公園内 慰霊塔前
住所：鹿児島県西之表市西之表14415
（西之表港 徒歩20分）
日時：平成25年11月2日（土） ※例年11月上旬開催
参列者数：250人
連絡先：西之表市 福祉事務所 援護係 0997-22-1111（代表）

式次第（平成25年度）

1. 開式のことば
2. 拝 礼
3. 国 歌 斉 唱
4. 黙 と う
5. 式 辞…西之表市長 長野 力
6. 追悼のことば…市議会議長 永田 章、市遺族会会長 永田義彦
7. 献 詠…種子島詩吟同好会 上妻陽二郎
8. 献 花
9. 式 電 披 露
10. 謝 辞…市遺族会会長 永田義彦
11. 拝 礼
12. 閉式のことば

式 辞（平成25年度）

本日ここに、ご遺族並びに来賓各位の御臨席のもと、西之表市主催による平成二十五年度戦没者追悼式が挙行されるにあたり、戦没者各位の御霊に謹んで追悼のことばを申し上げます。

今年の夏は、かの大戦が終焉した昭和二十年の夏を彷彿させるような暑い毎日でありましたが、ようやく朝に夕に涼やかな秋の冷気が立ち込め、ふるさと西之表を思い、ご家族を案じながら御盾となって散華された英霊各位は、緑に囲まれたわかさ公園において、無限の空間に魂を休めておられることと思います。

各位が英霊となられて早くも六十八年が過ぎましたが、その気高い精神は、ご遺族そして私たちの心の中に思い出とともにあり、決して風化するものではございません。

西之表市民を代表し、心から感謝の誠を捧げ、ご冥福をお祈り申し上げます。

また、愛する夫や息子、父を突然失った悲しみに堪えながら、戦後の混沌とした厳しい社会の中で助け合い、励まし合って、その日一日を精一杯生きてこられたご遺族の皆様には、語り尽せないほどの苦難があったこととご拝察申し上げます。御霊が命を投げ打って守られ、あとを託されたご遺族が全身全霊をかけて支えてこられた祖国日本、そしてふるさと種子島・西之表市は、世界に類を見ない平和憲法の下、めざましい発展を遂げました。

平和で豊かになり、戦争が遠い過去の出来事として風化しつつある今日、私たちが戦争の悲惨さと困窮の苦しさを若い世代に語り継ぐことが、御霊に報いる途であろうと肝に銘じております。

社会情勢の変遷に伴い、新たな課題が山積している状況ではありますが、市政を預かる私は、現在の日本の礎を築いてこられた御霊に恥じぬよう、市民福祉の更なる向上を目指して、第五次長期振興計画に謳った『絆で創る、魅力あふれる豊かなまち』という本市の将来像を実現するため、様々な分野において市民・職員と一丸となって日々邁進しております。

本日の式典において、先の大戦から学んだ教訓を胸に刻み、平和社会の確立と物心ともに豊かに暮らせる力強い西之表市の実現に向けて、持てる力を尽くしてまいることとお誓いいたします。

終わりに、戦没者各位がとこしえに安らかならんことをお祈りし、ご遺族並びに市民の皆様のご平安を祈念いたしまして式辞といたします。

平成二十五年十一月二日
西之表市長 長野 力

沖 縄 県

1 恒久平和モニュメント「なぐやけ」



基本情報

所 在： 若狭海浜公園
住 所： 沖縄県那覇市若狭 1-26
(沖縄都市モノレール 旭橋駅または県庁前駅 徒歩 15 分)
建 立 者： 那覇市
建 立 年： 平成 8 年
連 絡 先： 那覇市 健康福祉部 福祉政策課 098-862-9002 (直通)

碑 文

【裏】

生きぬき 築き上げた都市 那覇——その戦後は 米軍のバリケードで囲まれた 焼野が原から出発した はじめに 一〇三人の市民が生きぬいてもどった なつかしい壺屋のまちに 多くのいのちを失い ふるさと那覇も消滅し 悲しみは深かったが 打ちふるう復興の鉄には力があふれ みんなまなこを しっかり前へ向け 踏み出した 生活と都市再建の一步を	それから 心のいしじを固く敷きつめ 平和通りをつくり 国際通りを開け もう二度と失うことのない 那覇を築いてきた ここにくるまで五十年 一〇三人は三十一万へとかわった 那覇——それは戦争をしない都市 那覇——それは市民の愛が守るまち 那覇——それは市民が主人公の都市 那覇——それは世界の都市を友とするまち
	私たちは いま、ここに 市民の誇りと勇気により蘇った 都市・那覇を世界に宣言する 一九九五年・沖縄戦終結五十年記念宣言 那覇市

説 明 文

恒久平和のモニュメント なぐやけ

沖縄戦は、一九三一年の柳条湖事件に
はじまった日中戦争以来、一五年に及んだ
戦争の最後の激戦であり、日本で唯一住民を
巻き込んだ地上戦でありました。
一九四四年十月十日の空襲によって、
那覇市は灰燼に帰し翌年四月の米軍上陸から
三ヶ月余に及んだ沖縄戦は熾烈を極めました。
その結果、那覇市民の戦没者は二万八千人
余に及び、沖縄全体では二十三万人余の尊い
人命が失われました。
わたくしたち那覇市民は、戦争の惨禍を
決して忘れることなく、愚かな戦争を再び
繰り返してはならないと深く決意するもの
であります。
那覇市では戦後五十年の節目にあたり、
那覇市連合遺族会の提案に基づき、戦没者の
恒久平和への強い決意をアジアや世界の人々
に伝えるため、那覇市平和宣言を行い、
ここに恒久平和のモニュメント「なぐやけ」
を建立いたしました。
「なぐやけ」は「穏やか」「和やか」
という沖縄の古語で、いつまでも平和で
ありますようにとの祈りが込められています。
那覇市

2 なぐやけの碑 慰霊祭



開催概要（平成25年度）

歳事名：なぐやけの碑 慰霊祭
会場：若狭海浜公園内 恒久平和モニュメントなぐやけの碑前
住所：沖縄県那覇市若狭1-26
（沖縄都市モノレール 旭橋駅または県庁前駅 徒歩15分）
日時：平成25年10月10日（木） ※例年10月10日開催
参列者数：約100人
連絡先：那覇市 健康福祉部 福祉政策課 098-862-9002（直通）

式次第（平成25年度）

1. 開式のことば…小禄遺族会会長
2. 黙 祷
3. 読 経…護国寺住職
4. 主催者焼香並びに弔辞…那覇市長、那覇市議会議長、遺族代表 那覇遺族会
5. 来賓並びに各遺族会代表焼香
6. 閉会のことば…首里遺族会会長

弔 辞（平成25年度）

本日は、那覇市連合遺族会主催の第18回「なぐやけの碑」慰霊祭が執り行われるにあたり、謹んで哀悼のことばを捧げます。

69年前の10・10空襲により、多くの尊い命とともに歴史ある那覇市の街並みがほとんど焼失し、人々の心に深い悲しみを残しました。

戦後の復興は、ご遺族の方々をはじめ多くの市民が、深い悲しみを乗り越え、那覇への愛着と平和を希求する心を結集することから始まりました。

今もこうして、大嶺正光（おおみねまさみつ）会長をはじめご遺族の皆様が戦没者を慰霊し、恒久平和を祈念し続けておられますことに、深く敬意を表します。

2万9千名余の市出身戦没者名簿が奉納されている平和のモニュメント「なぐやけの碑」も、長い間懸案であった改修工事を終えて、こうして本年の慰霊祭が執り行われる運びとなり、ご参列なされた皆様のお心も安堵されたものと拝察いたします。

今の那覇市の発展があるのも、戦禍により犠牲となられた多くの方々の思いを引き継ぎ、発展にご尽力された皆様のご苦勞あったからこそであり、そのご功績には、深く感謝を申し上げるものでございます。

本市といたしましても、那覇を愛する先人たちに見守られながら、先人たちの思いに応えるべく、風格ある都市を目指し、全力で取り組んでまいります。

私たち沖縄県民は、戦争により心に深い傷を負いましたが、その試練を教訓として、平和が何よりも大切であることを心に刻み、沖縄戦の実態、そして戦争の愚かさを後世に継承し、恒久平和実現のために努力をすることを、ここに誓うものであります。

結びに、この「なぐやけの碑」に葬られている方々のご冥福と、お集まりのご遺族の皆様のご健勝を祈念いたしまして、弔辞といたします。

平成25年10月10日
那覇市長 翁長 雄志

3 海鳴りの像



基本情報

所 在：旭ヶ丘公園（対馬丸記念館裏）
住 所：沖縄県那覇市若狭1-26-5
（沖縄都市モノレール 旭橋駅または県庁前駅 徒歩15分）
建 立 者：戦時避難船舶遺族会
建 立 年：昭和62年6月23日
連 絡 先：戦時避難船舶遺族会 個人宅のため記載せず

碑 文

【表】

海鳴りの像

【表下部】

海鳴りの像

第二次世界大戦（太平洋戦争）で沖縄県は、全国で唯一地上戦が闘われ、軍・民併せて二十万余の尊い命が犠牲になりました。戦後六十二年経った今日なお、戦争で犠牲になった人々の遺骨がいまだに山野に残されたままになっています。他方沖縄県は、離島県であるが故に、海で犠牲になった県民は三四〇五人（沖縄県調査）にのぼります。学童疎開船「対馬丸」を初め、軍需工場に向かった若者や女子挺身隊・少年航空兵になるために乗船した者・召集令状を受け、郷里から出征しようとする者から沖縄に向かったもの・満州開拓団から帰郷した者・南洋方面から軍命によって強制送還された者などです。

沖縄県民が乗船して撃沈された戦時避難船舶は二六隻です。海なるの像には、対馬丸を除く二五隻の船舶で犠牲になられた県民一九二七人（沖縄県調査）の霊を祀ってあります。二度と再び悲惨な戦争は起こしてはならないと強く誓い、犠牲になられた御霊に心から追悼の誠を捧げます。戦時避難船舶遺族会は、一九八七年六月二十三日「海鳴りの像」を建立しました。二〇〇七年六月二十三日、赤城丸（四〇六人）・嘉義丸（三六八人）・開城丸（十人）・湘南丸（五七七人）・台中丸（一八六人）など五隻の犠牲者（一五四七人）の「刻銘板」を建立しました。

戦時避難船舶遺族会

4 小桜の塔



基本情報

所 在：旭ヶ丘公園（対馬丸記念館裏）
住 所：沖縄県那覇市若狭1-26-5
（沖縄都市モノレール 旭橋駅または県庁前駅 徒歩15分）
建 立 者：対馬丸遭難学童遺族会
建 立 年：昭和28年5月5日（昭和34年6月9日移設）
連 絡 先：対馬丸記念会 098-941-3515

碑 文

【表】

小桜の塔

説明文

【左】

昭和十九年八月二十二日夜半 学童疎開船対馬丸は 米潜水艦の魚雷攻撃を受けて 悪石島沖で轟沈し いたいけな学童と付き添いの人・一四八四人の尊い生命がひと時に奪われてしまいました。これらのみたまを弔い慰め 世界の恒久平和を念ずるために 多くの人々の善意で 小桜の塔 は建立されました。

【右】

小桜の塔建立について

愛知県丹陽村の「すずしろ子供会」会長河合桂氏は戦争の犠牲となった子供達の慰霊塔が沖縄にないことを憂え、昭和二十八年護国寺の名幸芳章住職を通じて対馬丸遭難者遺族会に建立の意志を申し出た。河合氏を始め関係者は愛知県の児童に広く一円募金を呼びかけて二十余万円の浄財及び資材を集めるに至り、同年五月五日小桜の塔が建立された。

長崎原爆関連

① 長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典



※写真提供 長崎市

開催概要（平成25年度）

歳事名：長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典

会場：平和公園内 願いのゾーン 平和祈念像前

住所：長崎県長崎市松山町9
(JR長崎駅より 長崎電気軌道「松山町」停留場 徒歩5分)

日時：平成25年8月9日（金） ※例年8月9日開催

参列者数：6,300人

連絡先：長崎市 市民局 原爆被爆対策部 調査課 095-829-1147（直通）

式次第（平成25年度）

1. 被爆者合唱
2. 開式、原爆死没者名奉安
3. 式辞…長崎市議会議長 板坂博之
4. 献水
5. 献花
6. 黙とう
7. 平和宣言…長崎市長 田上富久
8. 平和への誓い…被爆者代表 築城昭平
9. 児童合唱
10. 来賓挨拶…内閣総理大臣 安倍晋三、長崎県知事 中村法道
11. 合唱「千羽鶴」
12. 閉式

長崎平和宣言（平成25年度）

68年前の今日、このまちの上空にアメリカの爆撃機が一発の原子爆弾を投下しました。熱線、爆風、放射線の威力は達まじく、直後から起こった火災は一昼夜続きました。人々が暮らしていたまちは一瞬で壊滅となり、24万人の市民のうち15万人が傷つき、そのうち7万4千人の方が命を奪われました。生き残った被爆者は、68年たった今もなお、放射線による白血病やがん発病への不安、そして深い心の傷を抱え続けています。

このむごい兵器をつくったのは人間です。広島と長崎で、二度までも使ったのも人間です。核実験を繰り返し地球を汚染し続けているのも人間です。人間はこれまで数々の過ちを犯してきました。だからこそ忘れてはならない過去の警い、立ち返るべき原点を、折にふれ確かめなければなりません。

日本政府に、被爆国としての原点を返ることを求めます。
今年4月、ジュネーブで開催された核不拡散条約（NPT）再検討会議準備委員会が提出された核兵器の非人道的性を訴える共同声明に、80か国が賛同しました。南アフリカなどの廃案国は、わが国にも賛同の署名を求めました。

しかし、日本政府は署名せず、世界の期待を裏切りました。人類はいかなる状況においても核兵器を使うべきではない、という文言を受け入れられないといふれば、核兵器の使用を状況によっては認めるという姿勢は日本政府は示したことになります。これは二度と、世界の誰にも被爆の経験させないという、被爆国としての原点に返ります。

インドとの原子力協定交渉の再開についても同じです。
NPTに加盟せず核保有したインドへの原子力協力は、核兵器保有国をこれ以上増やさないためのルールを定めたNPTを形骸化することになります。NPTを脱退して核保有をめざす北朝鮮などの動きを正当化する口実を与え、朝鮮半島の非核化の妨げにもなります。

日本政府には、被爆国としての原点に返ることを求めます。
非核三原則の法制化への取り組み、北東アジア非核兵器地帯検討の呼びかけなど、被爆国としてのリーダーシップを具体的な行動に移すことを求めます。

核兵器保有国には、NPTの中核軍縮への誠実な努力義務が課されています。これは世界に対する約束です。

2009年4月、アメリカのオバマ大統領はブラハで「核兵器のない世界」を目指す決意を示しました。今年6月にはベリンで、「核兵器が存在する限り、私たちは真に安全ではない」と述べ、さらなる核軍縮に取り組むことを明らかにしました。被爆地オバマ大統領の姿勢を支持します。

しかし、世界には今も1万7千発以上の核弾頭が存在し、その90%以上がアメリカとロシアのもので、オバマ大統領、プーチン大統領、もっと早く、もっと大胆に核弾頭の削減に取り組んでください。「核兵器のない世界」を遠くとするのではなく、人間が早急に解決すべき課題として、核兵器の廃絶に取り組む、世界との約束を果たすべきです。

核兵器のない世界の実現を、国のリーダーだけにまかせるのではなく、市民社会を構成する私たち一人ひとりにできることがあります。

「政府の行方によって再び戦争の惨禍が起こることのないやうにする」という日本国憲法前文には、平和を希求するという国民の強い決意がこめられています。かつて戦争が多くの人の命を奪い、心と体を深く傷つけた事実を、戦争をもたらした数々のむごい光景を、決して忘れずに、決して繰り返さない、という平和と希望の原点を忘れないためには、戦争体験、被爆体験を語り継ぐことが不可欠です。

若い世代の皆さん、被爆者の声を聞いたことがありますか。「ノーモア・ヒロシマ、ノーモア・ナガサキ、ノーモア・ワコ、ノーモア・ヒバシヤ」と叫ぶ声。

あなたが被爆者の声を聴き取ることができる最後の世代です。68年前、原子雲の下で何があったのか、なぜ被爆者は未来のために身を削りながら核兵器廃絶を訴え続けるのか、被爆者の声に耳を傾けてみてください。そして、あなたが住む世界、あなたの子供たちが生きる未来に核兵器が存在しないのか、考えてみてください。互いに話し合ってください。あなたがたこそが未来なのです。

地域の市民としてできることもあります。わが国では自治体の90%近くが非核宣言をしています。非核宣言は、核兵器の犠牲者になることを拒み、平和を求め市民の決意を示すものです。宣言をした自治体でつくる日本非核宣言自治体協議会は今年、設立30周年を迎えました。皆さんが宣言を行動に移そうとするときは、協議会も、被爆地も、仲間として力を貸します。

長崎では、今年11月、「第5回核兵器廃絶一地球市民会ナガサキ」を開催します。市民の力で、核兵器廃絶を被爆地から世界へ発信します。

東京電力福島第一原子力発電所の事故は、未だ収束せず、放射線の被害は拡大しています。多くの方が平穏な日々を突然奪われたうえ、将来の見通しが立たない暮らしを強いられています。長崎は、福島の一日も早い復興を願い、応援していきます。

先月、核兵器廃絶を訴え、被爆者援護の充実に向けた山口仙二さんが亡くなりました。被爆者はいよいよ少なくなり、平均年齢は78歳を超えました。高齢化する被爆者の援護の充実をあらためて求めます。

原子爆弾により亡くなった方々に心から哀悼の意を捧げ、広島市と協力して核兵器のない世界の実現に努力し続けることをここに宣言します。

2013年（平成25年）8月9日
長崎市長 田上 富久

内閣総理大臣あいさつ（平成25年度）

本日、被爆68周年、長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典に臨み、原子爆弾の犠牲となった方々の御霊に対し、謹んで、哀悼の誠を捧げます。今なお被爆の後遺症に苦しんでおられる皆様に、心から、お見舞いを申し上げます。

68年前の本日、一発の爆弾が、7万を上回る、貴い命を奪いました。12万人が暮らしていた家屋を全焼、全壊し、生き長らえた方々に、病と障害の、さらには生活上の、言葉に尽くせぬ苦難を強いました。

一度ならず、二度までも被爆の辛酸を嘗めた私たちは、にもかかわらず、苦しみ、悲しみに耐え立ち上がり、祖国を再建し、長崎を、美しい街として蘇らせました。今日は、犠牲になった方々の御霊を慰めるとともに、先人たちの奮闘と、達成に、感謝を捧げる日でもあります。

私たち日本人は、唯一の、戦争被爆国民であります。そのような者として、我々には、確実に、「核兵器のない世界」を実現していく責務があります。その非道を、後の世に、また世界に、伝え続ける務めがあります。

昨年、我が国が国連総会に提出した核軍縮決議は、米国並びに英国を含む、史上最多の99カ国を共同提案国として巻き込み、圧倒的な賛成多数で採択されました。

本年、若い世代の方々に、核廃絶の特使とする制度を始めました。来年は、我が国が一貫して主導する非核兵器国の集まり、「軍縮・不拡散イニシアティブ」の外相会合を、広島で開催します。

今なお苦痛を忍びつつ、原爆症の認定を待つ方々に、一日でも早くその認定が下りよう、最善を尽くします。被爆された方々の声に耳を傾け、より良い援護策を進めていくため、有識者や、被爆者代表を含む関係者の皆様に、議論を急いで頂いています。

長崎の御霊を悼み朝、私は、これら責務に、旧に倍する努力を傾けていくことをお誓いします。

結びに、いまだ一度、犠牲になった方々の御冥福を、心よりお祈りします。ご遺族と、ご存命の被爆者の皆様には、幸多からんことを祈念します。核兵器の惨禍が再現されることのないよう、非核三原則を堅持しつつ、核兵器廃絶に、また、世界恒久平和の実現に、力を惜しまぬことをお誓いし、私のご挨拶といたします。

平成25年8月9日
内閣総理大臣 安倍晋三

2 平和祈念像



基本情報

所 在：平和公園内 願いのゾーン
住 所：長崎県長崎市松山町9
(JR長崎駅より 長崎電気軌道「松山町」停留場 徒歩5分)
建 立 者：長崎市
建 立 年：昭和30年8月8日
連 絡 先：長崎市 建設局 都市計画部 みどりの課 095-829-1171 (直通)

碑 文

【表左】

平和祈念像

【表】

平和祈念像作者の言葉

あの悪夢のような戦争
身の毛もよだつ凄絶悲惨
肉親を人の子を
かえり見るさえ堪えがたい真情
誰か平和を祈らずにいられよう
茲に全世界平和運動の先駆として
此平和祈念像が誕生した
山の如き聖哲それは逞しい男性の健康美
全長三十二尺餘
右手は原爆を示し左手は平和を
顔は戦争犠牲者の冥福を祈る
是人種を超越した人間
時に佛時に神
長崎始まって最大の英断と情熱
今や人類最高の希望の象徴
昭和三十年 春日 北村西望

【表右】

平和祈念像建立のことは
昭和二十年八月九日午前十一時二
分、一発の原子爆弾が、この地上空
でさく裂し、方五軒一帯を焼きよと
化し、死者七万三千余、傷者また七
万六千余におよんだ。
哀愁悲憤の思いは、今なお胸を
裂くものがある。
私も生き残った市民は、被爆諸
霊の冥福を祈り、かつ、この惨禍が
再び地上にくり返されることを防ぐ
ために、自ら起って、世界恒久平和
の使徒となることを決意し、その象
徴として、この丘に、平和祈念像の
建立を発願した。
かくて、私たちは、平和祈念像建
設協賛会を組織し、内外の熱烈な協
賛のもとに、昭和二十六年春、工を
起してより、ここに四年、念願の像
を完成し、除幕の式を挙げた。
この日原爆十周年の日の前日であ
る。
私は、三十万市民とともに、この
平和祈念像が、万人に仰がれ、世界
平和の保持に大きな貢献をなすもの
と信ずる。
昭和三十年八月八日
長崎市長 田川 務

3 平和の泉



基本情報

所 在：平和公園内 願いのゾーン
住 所：長崎県長崎市松山町9
(JR長崎駅より 長崎電気軌道「松山町」停留場 徒歩5分)
建 立 者：平和の泉建設委員会
建 立 年：昭和44年8月3日 (昭和60年8月改修)
連 絡 先：長崎市 建設局 都市計画部 みどりの課 095-829-1171 (直通)

碑 文

【表】

.....
のどが乾いてたまりませんでした
水にはあぶらのようなものが
一面に浮いていました
どうしても水が欲しくて
とうとうあぶらの浮いたまま飲みました

—あの日のある少女の手記から

【左側碑】

平和の泉
長崎市長
諸谷義武書

【右側碑】

核兵器禁止平和建設国民会議
平和の泉建設委員会
昭和44年8月3日建立

説 明 文

平和の泉
昭和20年8月9日原爆のため体内まで焼けただれた被爆者は「水を」
「水を」とうめき叫びながら、死んでいきました。
その痛ましい霊に水を捧げて、めい福を祈り、あわせて世界恒久平和を
祈念するため、核兵器禁止世界平和建設国民会議と長崎市は、全国からの
浄財を基として、ここに「平和の泉」を建設しました。
今日、ここを訪れてくださいましたあなたに、めい福を祈り、平和を祈念
していただければ、誠に幸いと存じます。
長崎市長
噴水池の直径：18メートル
噴水の高さ：0.5～6メートル
刻々と変化する水形は、平和のはとの羽ばたきを形どり
つるの港といわれる長崎港のつるも象徴しています

4 戦災復興記念



基本情報

所 在：平和公園内 願いのゾーン
 住 所：長崎県長崎市松山町9
 （JR長崎駅より 長崎電気軌道「松山町」停留場 徒歩5分）
 建 立 者：長崎県
 建 立 年：昭和50年11月14日
 連 絡 先：長崎市 建設局 都市計画部 みどりの課 095-829-1171（直通）

碑 文

【表】

戦災復興記念

【左側面】

1975
 NAOKI
 TOMINAGA

説 明 文

昭和20年8月9日午前11時2分、一個の原子爆弾によって長崎市は、一瞬のうちにその大半が焦土と化した。
 その範囲は爆心地からおおよそ3.5キロメートル、面積約6.7平方キロメートルに及び、死傷者約14万9千人、被災家屋1万8千余戸に達した。
 昭和21年9月「戦災復興計画基本方針」にもとづき、復興土地区画整理区域を決定、直ちに事業に着手した。混乱した戦後の社会状況のなかで、しかも当時としては画期的な大事業であったが関係者の協力のもと、幾多の困難を克服し着手以来28年余の歳月を費やし、昭和50年2月に完了するにいった。戦禍の街は、今や希望と繁栄に輝く平和都市として再現されたのである。ここに都市再建の業績を記録し、記念碑を建立する。

昭和50年11月14日
 長崎県知事 久保勘一

5 長崎の鐘



基本情報

所 在：平和公園内 願いのゾーン
 住 所：長崎県長崎市松山町9
 （JR長崎駅より 長崎電気軌道「松山町」停留場 徒歩5分）
 建 立 者：長崎県被爆者手帳友の会 長崎県動員学徒犠牲者の会
 建 立 年：昭和52年7月20日
 連 絡 先：長崎市 建設局 都市計画部 みどりの課 095-829-1171（直通）

碑 文

【表】

長崎の鐘

【鐘下】

碑文

長崎の鐘よ鳴れ
 長崎の鐘よ鳴れ
 私達の肉親を奪った
 私達のからだをむしばんだ
 あの原爆が
 いかに恐ろしいものであるか
 あの戦争が
 いかに愚かなものであるか
 長崎の鐘よひびけ
 長崎の鐘よひびけ
 地球の果てから
 果ての果てまでも
 私達の願いをこめて
 私達の祈りをこめて

昭和五十二年七月二十日
 長崎県被爆者手帳友の会
 長崎県動員学徒犠牲者の会
 会長 深堀勝一
 松岡國一 刻

【後方碑】

動員学徒
 女子挺身隊
 徴用工
 一般市民

原爆殉難者之碑

【下部】

製 作 洵製作所
 デザイン 深堂隆一

【右側碑】

長崎の鐘

【入口右側碑】

長崎県被爆者手帳友の会

【入口左側碑】

長崎県動員学徒犠牲者の会

6 原子爆弾落下中心地碑



基本情報

所 在：平和公園内 祈りのゾーン
 住 所：長崎県長崎市松山町5
 （JR長崎駅より 長崎電気軌道「松山町」停留場 徒歩5分）
 建 立 者：長崎市
 建 立 年：昭和31年3月
 連 絡 先：長崎市 建設局 都市計画部 みどりの課 095-829-1171（直通）

碑 文

【左】

昭和二十年八月九日
 午前十一時二分、一発
 の原子爆弾が、この地
 の上空五〇〇メートル
 でさく裂し、一瞬、七
 三、八〇〇人の尊い生命
 を奪い、七六、七〇〇人
 の負傷者を出した。同
 時に、家屋の焼失一、
 五〇〇戸、全壊又は大
 破したもの六、八〇〇戸、
 この地を中心として、

二・五キロメートルに及
 ぶ地域が壊滅した。そ
 の惨状は筆舌に尽し難
 い。
 ここに原子爆弾落下
 の中心地を示すためこ
 の碑を建てる。

昭和三十一年三月
 長崎市長 田川 務

【右】

原子爆弾落下中心地

原爆殉難者名奉安の説明

【表】

原爆殉難者名奉安

【左側面】

原爆死没者名奉安数
 162, 083人
 平成25年8月9日現在

7 平和を祈る子の像



基本情報

所 在：平和公園内 祈りのゾーン
 住 所：長崎県長崎市松山町5
 （JR長崎駅より 長崎電気軌道「松山町」停留場 徒歩5分）
 建 立 者：長崎平和折鶴会
 建 立 年：昭和42年8月9日
 連 絡 先：長崎市 建設局 都市計画部 みどりの課 095-829-1171（直通）

碑 文

【表】

平和を祈る子

原子雲の下で
 母さんにすがって泣いた
 ナガサキの子供の悲しみを
 二度と、くりかえさないように

大砲の音が
 二度となりひびかないように
 世界の子供のうえに、いつも
 明るく太陽が輝いていますように

長崎平和の折鶴会

8 浦上天主堂遺壁



基本情報

所 在：平和公園内 祈りのゾーン
 住 所：長崎県長崎市松山町5
 （ＪＲ長崎駅より 長崎電気軌道「松山町」停留場 徒歩5分）
 移 設 者：長崎市
 移 設 年：昭和33年
 連 絡 先：長崎市 建設局 都市計画部 みどりの課 095-829-1171（直通）

説明文

浦上天主堂遺壁

爆心地から北東へ約500mの小高い丘にあった浦上天主堂は、1895年（明治28年）から建築に着手し、信徒たちの献金と労働奉仕により、1914年（大正3年）に献堂式を挙げるにいった。そして、1925年（大正14年）に正面の双塔が完成し、大小の鐘が吊された。

東洋一の壮大さを誇った天主堂であったが、1945年（昭和20年）8月9日、午前11時2分、原子爆弾のさく裂により破壊され、わずかにまわりの壁を残すのみとなった。この側壁は聖堂の南側の一部で、1958年（昭和33年）に新しい天主堂建設のためこの地に移築されたものであり、壁上の石像はザベリオと使徒である。しかし、風雨にさらされて傷みが進んだため、安全性を考慮して現在の形状のまま内部及び表面の補強を行った。

長崎市は原爆で亡くなられた方々のご冥福をお祈りし、二度とこのような惨禍が繰り返されないことを願って、この銘板を設置する。

2001年（平成13年）3月 長崎市（原爆資料館）

9 原爆殉難教え子と教師の像



基本情報

所 在：長崎市平和会館前
 住 所：長崎県長崎市平野町7-8
 （ＪＲ長崎駅より 長崎電気軌道「浜口町」停留場 徒歩5分）
 建 立 者：原爆殉難教え子と教師の像建立委員会
 建 立 年：昭和57年8月3日
 連 絡 先：長崎市 建設局 都市計画部 みどりの課 095-829-1171（直通）

碑文

【表】

原爆殉難教え子と教師の像

【左側面】

日本芸術院会員
富永直樹作

【手前左碑】

人の命が尊ばれますように

【手前右碑】

世界が平和でありますように

【左側面】

昭和二十年八月九日。原子爆弾の劫火とすさまじい爆風は、一瞬にして長崎の北部一帯を廃墟と化し、十四万余の市民を殺傷した。さながら地獄のごとき様相は、核兵器の恐るべき脅威を示すものであった。

この日、家にいた国民学校児童五千八百余、報国隊として工場に出動していた千九百余の生徒たちは、百有余の教師と共に即死、または放射線によりつぎつぎと尊い命を奪われた。

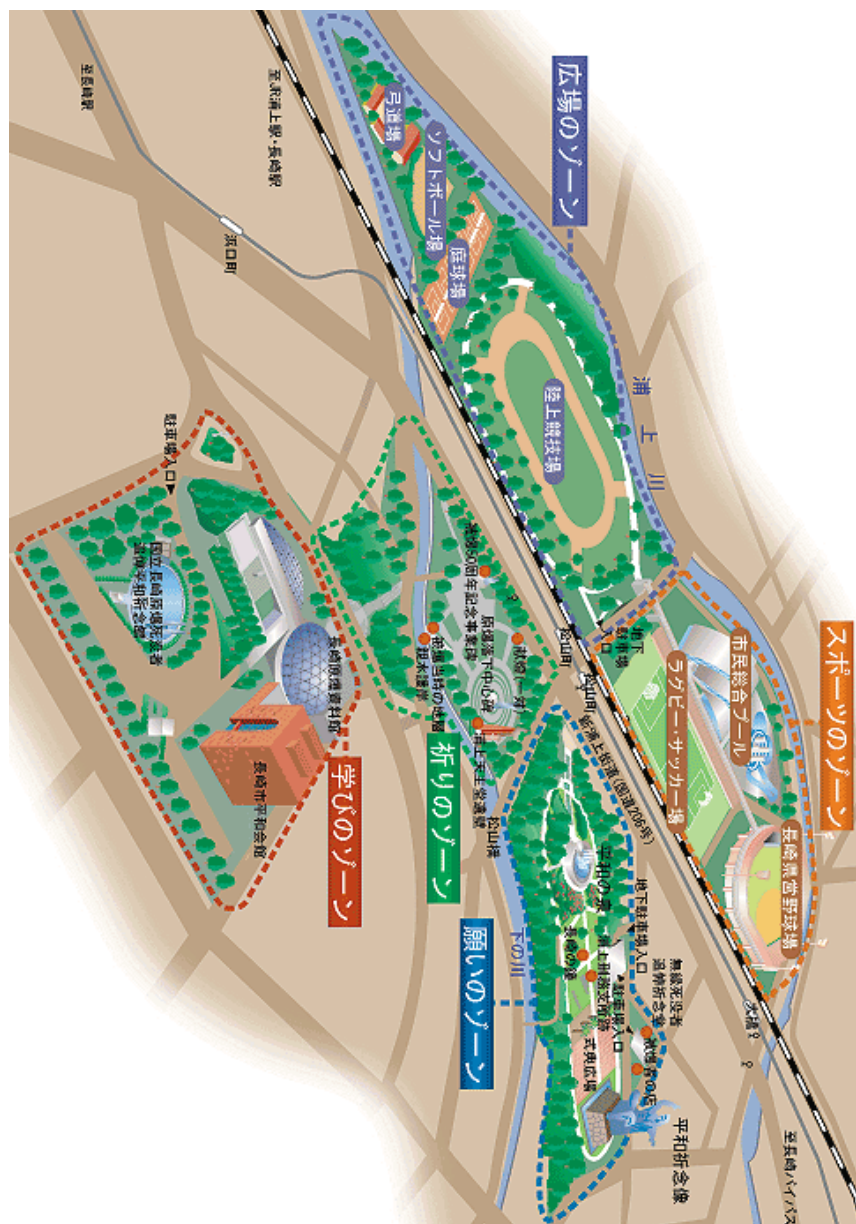
年を経るに従い、この悲惨な事実が忘れ去られることは忍び難く、県内外の教職員及び有志の協力により、亡きみ霊の安らかならんことを祈念し、再びかかる惨禍をくり返さぬことを誓いここにこの像を建立するものである。

昭和五十七年八月三日
原爆殉難教え子と教師の像建立委員会

建 立 発 起 団 体

長崎県校長会
 長崎県高等学校長協会
 長崎県私立中学・高等学校協会
 長崎県教職員組合
 長崎県高等学校教職員組合
 長崎県教職員連盟
 長崎県私立学校教職員組合懇談会
 長崎県教育会
 長崎県退職校長会
 長崎県公立高等学校退職校長会
 長崎大学玉園同窓会
 長崎県退職教職員等連合協議会
 長崎県退職婦人教職員協議会
 長崎県原爆被爆教職員の会
 長崎県高等学校新教職員組合

10 平和公園マップ



※提供 長崎市

沖縄戦関連

※ 地上戦の行われた沖縄に関しましては、戦没者、戦災犠牲者の区別が付け難い追悼施設、追悼式が数多く存在しているため、「沖縄戦」という括りで、代表的な事例を紹介しております。

1 沖縄全戦没者追悼式



※写真提供 沖縄県

開催概要（平成25年度）

歳事名：沖縄全戦没者追悼式 ※一般戦災死没者を含む
会場：平和祈念公園
住所：沖縄県糸満市字摩文仁444（公園管理事務所）
（糸満バスターミナルより 琉球バス交通「平和祈念堂入口」下車 徒歩5分）
日時：平成25年6月23日（日） ※例年6月23日開催
参列者数：約5,800人
連絡先：沖縄県 福祉保健部 福祉・援護課 098-866-2177（直通）

式次第（平成25年度）

- | | |
|-----------|-------------|
| 1. 開式の辞 | 6. 平和宣言 |
| 2. 式の辞 | 7. 「平和の詩」朗読 |
| 3. 黙とう | 8. 来賓あいさつ |
| 4. 追悼のことば | 9. 閉式の辞 |
| 5. 献花 | |

平和宣言（平成25年度）

私たちは、68年前の戦争で多くの尊い命とかけがえのない文化遺産や美しい自然を失い、生涯癒やすことのできない深い痛みを負いました。

戦後、米軍の施政権下にあつて、人権と自治の回復を渴望し、自らの運命を開拓する自覚と魂のもとに行動を続け、本土復帰を実現しました。

私たちは、たゆまぬ努力と幾多の困難を乗り越えて、郷土に誇りを持ち、発展の歩みを続けています。

しかし、沖縄は、今なお、米軍基地の過重な負担を強いられています。

日米両政府に対して、一日も早い普天間飛行場の県外移設、そして、日米地位協定の抜本的な見直しなどを強く求めます。

私たちは、沖縄戦の教訓を継承するとともに、わが国が築いてきた平和主義の堅持を強く望むものであります。

慰霊の日に当たり、全戦没者のみ霊に謹んで哀悼の誠を捧げますとともに、恒久平和の実現を目指して、県民の強い思いと英知を結集してまい進していくことを宣言します。

平成25年6月23日
沖縄県知事 仲井 眞弘多

平和の詩（平成25年度）

「へいわってすてきだね」
久部良小学校 一年 安里 有生

へいわってなかな。
ぼくは、かんがえたよ。
おともだちとなかよし。
かぞくが、げんき。
えがおであそぶ。
ねこがわらう。
おなかがいっぱい。
やぎののんびりあるいてる。
けんかしてもすぐかなおり。
ちょうめいそうがたくさんはえ、
よなぐにうまが、ヒビーンとなく。
みなどには、フェリーがとまっていて、
うみには、かめやかじきがおよいでる。
やさしいところがにじになる。
へいわっていいね。へいわってうれしいね。
みんなのころから、
へいわがうまれるんだね。

せんそうは、おそろしい
「ドダウン、ドカーン。」
ばくだんがおちてくるこわいおと。
おなかがついて、くるしむこども。
かぞくがしんでしまっただけとたち。

ああ、ぼくは、へいわなときにうまれてよかったよ。
このへいわが、ずっとつづいてほしい。
みんなのえがおがずっと、つづいてほしい。

へいかなかぞく、
へいかながっこう、
へいかなよなぐにじま、
へいかなおきなわ、
へいかなせかい、
へいわってすてきだね。

これから、ずっとへいわがつづくように
ぼくも、ぼくのできることからがんばるよ。

2 平和の礎



基本情報

所 在：平和祈念公園
住 所：沖縄県糸満市字摩文仁444（公園管理事務所）
（糸満バスターミナルより 琉球バス交通「平和祈念堂入口」下車 徒歩5分）
建 立 者：沖縄県
建 立 年：平成7年6月23日
連 絡 先：沖縄県平和祈念財団 098-997-2765

碑 文

【表】

沖縄戦で亡くなられたすべての人々の氏名を刻んだ記念碑
(沖縄県出身者：満州事変に始まる15年戦争の期間中の戦没者を対象)

同 英語、韓国語、中国語 表記

3 しづたまの碑



基本情報

所 在：平和祈念公園
住 所：沖縄県糸満市字摩文仁444（公園管理事務所）
（糸満バスターミナルより 琉球バス交通「平和祈念堂入口」下車 徒歩5分）
建 立 者：沖縄県遺族連合会
建 立 年：昭和44年6月
連 絡 先：沖縄県平和祈念財団 098-997-2765

碑 文

【表】

しづたまの碑

【表下部】

碑文

第二次世界
大戦において
沖縄は祖国防
衛の決戦場と
なり その戦
闘は熾烈を極
め一家全員戦
火に斃れ祖国
に殉じた戦没

者はその数一
千五百余柱に
及んでいる
これらの尊
きみ霊の慰霊
顕彰につい
ては終戦以来深
く心を砕いて
きたが 今回
ここに財団法
人沖縄財団の
寄進を得て

しづたま（鎮魂）
の碑 を建立
するとともに
毎年日を定め
供養を行ない
その悲壮な事
実を後世に伝
える
一九六九年六月
財団法人 沖縄県遺族連合会

4 沖縄工業健児之塔



基本情報

所 在：平和祈念公園内
住 所：沖縄県糸満市字摩文仁628
(糸満バスターミナルより 琉球バス交通「平和祈念堂入口」下車 徒歩5分)
建 立 者：沖縄県立工業高校同窓会
建 立 年：昭和44年6月
連 絡 先：沖縄県平和祈念財団 098-997-2765

碑 文

【表】

沖縄工業健児之塔
森戸長男謹書

説明文

昭和二十年乙酉六月四日午前七時
字摩文仁百六番地徳村氏の屋敷
内に於て艦砲直撃にあい同級生九人即死
沖縄県立工業学校進級二年生
通信隊暗號班九人之霊骨を蔡る

(故人名)

其他之五人の氏名が不明

5 沖縄師範健児之塔



基本情報

所 在：平和祈念公園に隣接
住 所：沖縄県糸満市字摩文仁548
(糸満バスターミナルより 琉球バス交通「健児の塔入口」下車 徒歩3分)
建 立 者：沖縄師範健児之塔遺族会
建 立 年：昭和21年3月
連 絡 先：沖縄県平和祈念財団 098-997-2765
うちなーサポート うーとーとおきなわ 098-894-3344

碑 文

【表】

沖縄師範健児之塔

説明文

昭和二十年三月三十一日、第二次世界大戦の最中、沖縄師範学校全職員生徒は、軍命により、第三十二軍司令部の直属隊「鐵血勤皇師範隊」として軍に動員された。

然るに同年六月二十二日、南西諸島方面軍最高司令官牛島満中將が自決するに及び師範隊は解散するに至った

が、この間、総員四百八十名中三百有餘名が守備軍と運命を共にしたのである。こゝに、生存者達の手によって「慰霊の塔」が建立されたのであるが、更に太田昌秀外間守善編「沖縄健児隊」出版並びに同名映画の上映記念事業として、廣く江湖の有志の方々の御援護の下に、

この「平和の像」は建てられたのである。若い身命を捧げて散った師友人の冥福を祈ると共に、それらの尊い殉死によって齎された平和への祈願を永久に伝えるべく生存者達は心から祈るものである。

發起者
沖縄師範学校生存者

6 平和祈念公園マップ



※提供 沖縄県

7 魂魄の塔



基本情報

所 在：平和創造の森公園
住 所：沖縄県糸満市字米須1441-3
(糸満バスターミナルより 琉球バス交通「米須入口」下車 徒歩17分)
建 立 者：沖縄県遺族連合会
建 立 年：昭和21年2月(平成元年補修)
連 絡 先：沖縄県遺族連合会 098-834-2811

碑 文

【表】

魂 魄

【裏】

にぎたまと なりてしづもる おくつきの
みとこの上を わたる潮風

説 明 文

この地は今次大戦でも一番の激戦地であり、日本軍も住民も追いつめられて逃げ場を失い、陸、海、空からの攻撃を受けて、敵弾にあたって倒れた屍が最も多い激戦地の跡である。

戦後、真和志村民が収容移住を許された所で村民及び地域住民の協力によって、道路、畑の中、周辺いたる所に散乱していた遺骨を集めて祀ったのがこの魂魄の塔である。

祭神三万五千余柱という、沖縄で一番多く祀った無名戦士の塔であったが、その後、昭和五十四年二月摩文仁の丘に国立沖縄戦没者墓苑が完成し、遺骨は同墓苑に分骨して安置してあります。

和魂となりてしづもるおくつきの
み床の上を渡る潮風

建立年月日 昭和二十一年二月

財団法人 沖縄県遺族連合会

8 開南健児之塔



基本情報

所 在：平和創造の森公園
住 所：沖縄県糸満市字米須575
(糸満バスターミナルより 琉球バス交通「米須入口」下車 徒歩17分)
建 立 者：開南中学同窓会
建 立 年：昭和46年5月
連 絡 先：開南中学同窓会 個人宅のため記載せず

碑 文

【表】

開南健児之塔

【銘刻碑】

開南中学校戦没者
(故人名)

経 緯

沖縄戦で命を落とした私立開南中学校の戦没者を祀っている。

出典：沖縄県平和祈念財団著「沖縄の慰霊塔・碑」より

9 ずみせんの塔



基本情報

所 在：米須（西）交差点付近
住 所：沖縄県糸満市字米須1137-1
(糸満バスターミナルより 琉球バス交通「米須入口」下車 徒歩1分)
建 立 者：瑞泉同窓会
建 立 年：昭和23年8月8日
連 絡 先：瑞泉同窓会 個人宅のため記載せず

碑 文

【表】

ずみせんの塔

説 明 文

ずみせんの塔

ずみせんの塔は、第二次世界大戦沖縄戦で戦死した沖縄県立首里高等女学校看護隊並に職員同窓会員の御霊を祭ってある。昭和二十年一月二十五日から軍医の講習を受け、引続き合宿訓練に入った

後、三月二十七日野戦病院壕で卒業式を挙行、直ちに第六十二師団、石部隊野戦病院に配属され最前線の浦添から首里、摩文仁へと負傷兵を看護しつつ、泥濘の中を弾雨に叩かれ、奮闘したが惜しくも散華したのである。

10 梯梧之塔



基本情報

所 在：ひめゆり第一駐車場奥
住 所：沖縄県糸満市字米須 1 1 5 0
(糸満バスターミナルより 琉球バス交通「ひめゆりの塔」下車 徒歩すぐ)
建 立 者：梯梧同窓会
建 立 年：昭和 2 3 年 6 月 (昭和 4 6 年 6 月 2 3 日移設)
連 絡 先：喜名自治会 個人宅のため記載せず

碑 文

【表】

梯梧之塔

説 明 文

梯梧の塔説明碑文

梯梧の塔は、昭和 4 6 年 6 月 2 3 日、旧校舍跡より、ゆかりの地に移転。母校の校歌「梯梧の花の緋の誠」にちなんで、「梯梧の塔」として建立された。
昭和 2 0 年 1 月 2 5 日より約 1 月間の看護教育を受け、3 月 6 日、1 7 名 (4 年生) は、第 6 2 師団野戦病院 (石 5 3 2 5) へ学徒看護隊として、ナゲーラの壕へ配属された。

4 月 1 日、地上戦が始まるや、日を逐うて前線からの負傷兵が激増、壕の中は、まるで生き地獄、昼夜の別なく看護は続いた。4 月 2 9 日学友の中から最初の戦死者が出る。ナゲーラの壕は満杯で収容できず、9 名は第二分院の識名の壕へ移動した。壕の中で休息中、飛んで来た破片で学友 2 名が戦死。戦況の悪化で 5 月末、武富、米須、伊原へと後退。米軍は物量にものを言わせて猛攻撃は止むことなく、伊原の地で 6 名戦死。病院としての機能を果たす事ができず、6 月 1 9 日、隊に解散命令が出た。

無念にも学業半ばにして、戦禍の中で犠牲になった、同窓生 5 7 名と、職員 3 名、計 6 0 柱が合祀されている。
勝利を信じ若くして御霊となった学友の永遠に眠る南部終焉の地に建立、恒久平和を願いつつご冥福を祈っている。

所在地 糸満市米須 1 1 5 0 番地
建立年月日 昭和 4 6 年 6 月 2 3 日 (移設)
敷地面積 7 0 坪
合祀柱数 6 0 柱
管理者 梯梧同窓会
慰霊奉賛会と永久管理契約済

11 ひめゆりの塔



基本情報

所 在：ひめゆり平和祈念資料館に隣接
住 所：沖縄県糸満市字伊原 6 7 2 - 1
(糸満バスターミナルより 琉球バス交通「ひめゆりの塔前」下車 徒歩すぐ)
建 立 者：真和志村
建 立 年：昭和 2 1 年 4 月
連 絡 先：ひめゆり平和祈念資料館 0 9 8 - 9 9 7 - 2 1 0 0

碑 文

【表】

ひめゆりの塔

教師・学徒 戦没者
沖縄師範学校女子部 百十五名 氏名表記
沖縄県立第一高等女学校 百十二名 氏名表記

説 明 文

ひめゆりの塔の記

昭和二十年三月二十四日島尻郡玉城村港川方面へ米軍の艦砲射撃が始まった。沖縄師範学校女子部と沖縄県立第一高等女学校の職員生徒二百九十七名は、軍命によって看護要員としてただちに南風原陸軍病院の勤務についた。

(中略)

日本軍の首里撤退もせまった五月二十五日の夜南風原陸軍病院は重傷患者は壕に残し歩ける患者だけをつれて、手を引き肩をかし砲弾をくぐり、綱帯をちぎって道しるべとしてここ摩文仁村に移動した。

(中略)

六月十八日いよいよ米軍がま近にせまり、看護隊は陸軍病院から解散を命ぜられた。翌十九日第三外科の壕は敵襲を受けガス弾を投げこまれて地獄絵図と化し、奇跡的に生き残った五名をのぞき職員生徒四十名は岩に枕を並べた。軍医・兵・看護婦・炊事婦等二十九名、民間人六名も運命をともにした。その他の壕にいた職員生徒たちは壕脱出後弾雨の中をさまよひ沖縄最南端の断崖に追いつめられて多く消息をたった。南風原陸軍病院に勤務した看護要員の全生徒の三分の二がこうして最期をとげたのである。

(中略)

乙めらは涙と血とを流してえた体験を地下に埋めたくない平和へのさびけを岩肌に刻みながらついに永遠に黙した。

12 白梅之塔



基本情報

所 在：南禅廣寺に隣接
住 所：沖縄県糸満市字真栄里 1 8 3 7 - 1
(糸満バスターミナルより 琉球バス交通「国吉」下車 徒歩 1 3 分)
建 立 者：白梅同窓会
建 立 年：昭和 2 2 年 1 月 (平成 4 年改修)
連 絡 先：白梅同窓会 個人宅のため記載せず

碑 文

【表】

白梅之塔

【裏】

うめ
散りてなほ 香りい憂し 白梅の花
元教諭 金城宏吉
昭和二十二年一月建立

説 明 文

白梅之塔

沖縄県立第二高等女学校の四年生五十六名で編成された白梅学徒看護隊は、昭和二十年三月六日第二十四師団（山部隊）の衛生看護教育隊に入隊し、補助看護婦として特別集中教育を受けていた。

米軍の艦砲射撃が激しくなった同月二十四日から、東風平町富盛の八重瀬岳にあった同師団の第一野戦病院に軍属として配置され、昼夜別なく傷病兵の看護に専念した。

戦況は毎日に悪化し、同年六月四日遂に白梅隊に解散命令が下り、隊員は散り散りになって戦野を彷徨し、一人またひとりと戦火に斃れていった。その場所は殆ど不明である。

また、解散後この地に後退した山第一野戦病院に、再び合流した一部の白梅隊員は、同年六月二十一、二十二の両日に亘り、米軍の猛攻撃を受け無念の最期を遂げた。この辺一帯は、白梅隊員の最も多くの犠牲者が出た所である。

塔は、戦没した白梅隊員及び沖縄戦で戦死、或いは戦争が原因で亡くなった教職員・同窓生百四十九柱の鎮魂と、世界の恒久平和を祈念して昭和二十二年一月に建立した。

毎年六月二十三日の「慰霊の日」に例祭が行われる。

平成十年 六月二十三日
沖縄県立第二高等女学校 白梅同窓会

13 翔洋碑



基本情報

所 在：沖縄県立沖縄水産高等学校
住 所：沖縄県糸満市西崎 1 - 1 - 1
(糸満バスターミナルより 琉球バス交通「西崎小学校入口」下車 徒歩 8 分)
建 立 者：沖縄水産学校同窓会
建 立 年：昭和 3 7 年 1 1 月 (昭和 5 3 年 3 月移設)
連 絡 先：沖縄県立沖縄水産高等学校 0 9 8 - 9 9 4 - 3 4 8 3

碑 文

【表】

翔洋碑

沖縄水産

【裏】

昭和五十三年三月建立

説 明 文

建立の詞

昭和十二年七月七日支那事変勃発し続いて十六年十二月八日第二次世界大戦となって戦禍は益々熾烈を窮め二十年八月十五日古今未曾有の人類の悲劇は終末を告げたのであります

其の間吾が沖縄県立水産学校も幾多の教職員及び同窓生を支那大陸又は南溟の地に送り或いは郷土防衛の楯となったのであります

勇戦奮闘も空しく多数の戦死者を出したのでもあります

特に沖縄が第二次大戦の戦場と化するに及んで一年生は通信隊として球部隊に二年三年生は鉄血勤皇隊として石部隊に召集編入され直接戦闘に参加したのであります

戦いわれに利あらずあたら春秋にとむ身を護国の神となつて散華したのであります

此處に吾等同窓生並びに関係有志はこれら戦没勇士を追慕し英霊の御冥福を祈ると共に永遠の世界平和を祈願してこの塔を建立するものであります。

一九六二年十一月吉日
沖縄水産学校同窓会

14 一中健児之塔



基本情報

所 在：首里金城町 養秀会館前
住 所：沖縄県那覇市首里金城町1-7
(沖縄都市モノレール 儀保駅 徒歩15分)
建 立 者：養秀同窓会
建 立 年：昭和25年4月30日
連 絡 先：養秀同窓会(養秀会館内) 098-885-6437

碑 文

【表】

一中健児之塔

【表右下部】

よどみなく ふるいはけみし健児らの 若き血潮そ 空をそめける

説 明 文

沖縄県立第一中学校
鐵血勤皇隊 通信隊 學徒兵並職員 沖縄戦戦没者

沖縄県立第一中学校は昭和二十年(一九四五年)沖縄戦に際し
軍命により 藤野憲夫校長以下職員生徒一同が 一中鐵血勤皇隊の
一隊を結成し 二年生は軍の通信隊要員として動員され 終始軍と
行動を共にし 年若い一年生も戦火に巻き込まれ その多数が尊い
生命を學業半ばに散らしたことは痛恨の極みである
養秀同窓会は 國學創建二百年 沖縄県立第一中学校 首里高等学校
創立百二十年記念事業として 戦没者の氏名を刻銘し 御霊を慰め
かかる事が再び起きない様に 永遠の平和を祈念する

15 二中健児の塔



基本情報

所 在：城岳公園
住 所：沖縄県那覇市楚辺1-2-54
(沖縄都市モノレール 県庁前駅 徒歩10分)
建 立 者：城岳同窓会
建 立 年：昭和32年12月29日(平成2年11月22日移設)
連 絡 先：城岳同窓会 098-867-2525

碑 文

【表】

二中健児の塔

説 明 文

建立の詞

一九四五年第二次世界大戦の終末戦とな
った沖縄戦において沖縄県立第二中学校職
員生徒は軍命により、或は鉄血勤皇隊とし
て、北部の防衛に當り、或は通信隊に参加
して首里以南の山河に馳駆し、其他防衛隊
又は軍属として各地に勇戦奮闘中、表記の
勇士はついに壮烈なる戦死を遂げられまし
た。

茲に、母校及び其後継那覇高等学校職員
生徒、同窓会員遺家族並びに一般有志相諮
り、曾ってスポーツに競った奥武山の此
のゆかりの聖地をとし沖縄県立二中健児の
塔を建立して以て英霊の至誠を追慕し、冥
福を祈り永遠の世界平和を祈願するもので
あります。

一九五七年十二月二十九日
二中健児之塔建設期成会
会長 山城篤男

16 積徳高等女学校慰霊之碑



基本情報

所 在：大典寺
住 所：沖縄県那覇市松山1-9-1
(沖縄都市モノレール 県庁前駅 徒歩4分)
建 立 者：積徳高等女学校 ふじ同窓会
建 立 年：平成12年11月
連 絡 先：大典寺 098-868-3491

碑 文

【表】

積徳高等女学校慰霊之碑

【右側碑】

ここに積徳高等女学校慰霊碑に
刻名された方々は 去る沖縄戦で
戦死 戦病死なされた教職員 在
校生 卒業生 当時の四年生で
学徒看護隊に動員された 戦没者
の皆様です

御霊よ 永久に 安らかに眠
りください 合掌

積徳高等女学校 ふじ同窓会
平成十二年十一月吉日 建立

17 和魂の塔



基本情報

所 在：沖縄県立那覇商業高校
住 所：沖縄県那覇市松山1-16-1
(沖縄都市モノレール 県庁前駅 徒歩8分)
建 立 者：那覇商業高校同窓会
建 立 年：昭和33年11月23日
連 絡 先：沖縄県立那覇商業高校 098-866-6555

碑 文

【表】

和 魂

経 緯

沖縄に米軍が上陸する直前の3月末、中学生に対し学徒隊として動員
令が下った。那覇市商工学校の生徒は鉄血勤皇隊を組織し、主に通信
隊に入隊。無線、暗号、情報の教育を受け従軍した。学徒隊員として
学業半ばにして犠牲となった那覇市立商工の生徒や職員165人が合
祀されている。

出典：沖縄県平和祈念財団著「沖縄の慰霊塔・碑」より

18 農林健児之塔



基本情報

所 在：野國總管公園
 住 所：沖縄県中頭郡嘉手納町字嘉手納
 （那覇バスターミナルより 琉球バス交通「嘉手納」下車 徒歩10分）
 建 立 者：沖縄県立農林学校同窓会
 建 立 年：昭和38年2月12日（平成17年6月23日再建）
 連 絡 先：嘉手納町教育委員会 098-956-1111（代表）

碑 文

【表】

農林健児之塔

【裏】

建立記

昭和六年（一九三一年）の満州事変から、昭和二十年（一九四五年）の第二次世界大戦終戦に至る十五年戦争において、五百有余の同窓生および教職員が、沖縄を始め、中国大陸、また南方地域において犠牲となった。
 就中太平洋戦争の激戦地となったわが沖縄では、学業半ばにして徴兵され、また鉄血勤皇隊農林隊として学徒出陣し、多数の農林健児があたり若い命を落とした。
 われわれは、これら戦死された方々の犠牲を無にすることなく、悲惨な戦争を再び繰り返さぬよう不戦の誓いを堅持し、茲に生命と平和の尊さを訴え、永く戦没者の名を留め、鎮魂慰霊の誠を捧げるため農林健児之塔を建立する。

昭和三十八年（一九六三年）二月十二日建立
 平成十七年（二〇〇五年）六月二十三日再建

沖縄県立農林学校同窓会

19 南燈慰霊之塔



基本情報

所 在：沖縄県立名護高等学校
 住 所：沖縄県名護市大西5-17-1
 （名護バスターミナルより 琉球バス交通「名護高校前」下車 徒歩すぐ）
 建 立 者：南燈同窓会
 建 立 年：昭和31年1月21日（平成13年3月31日移築）
 連 絡 先：沖縄県立名護高等学校 0980-52-2615

碑 文

【表】

南燈慰霊之塔

説 明 文

南燈慰霊之塔

南燈慰霊之塔は、一九五六年「三中健児之塔」として兼久公園に建立された。一九七二年沖縄県立第三高等女学校戦没者を合祀、一九八九年「南燈慰霊之塔」と改名、二〇〇一年にこの地に移転した。
 この塔には、一九三一年に勃発した満州事変から一九四五年に終結した太平洋戦争までに戦没された沖縄県立第三中学校の卒業生・在校生三三九柱、県立第三高等女学校の卒業生・在校生三六柱、計三七五柱の御霊が合祀されている。
 県立第三中学校の卒業生・在校生は、一九四五年三月、軍命により、防衛隊員・鉄血勤皇隊員及び通信隊員として動員され、真部山、八重岳、名護岳、多野岳等で戦ったが、米軍の圧倒的な物量の前に壮烈な最期を遂げていった。

また、県立第三高等女学校の卒業生・在校生も、軍命により女子挺身隊員（軍需工場）・従軍看護婦として動員され、若い命を散らしていった。

戦没者の御霊を慰めるとともに、悲惨な戦争を二度と起こさないよう、「恒久平和の誓い」としてこの塔を建立する。

二〇〇一年（平成十三年）三月三十一日

沖縄県立第三中学校同窓生及び遺族一同
 沖縄県立第三高等女学校同窓生及び遺族一同
 沖縄県立名護高等学校同窓生一同

20 八重山戦争マラリア犠牲者慰霊之碑



※写真提供 沖縄県

基本情報

所 在：石垣市パンナ公園
住 所：沖縄県石垣市パンナ丘
(石垣空港より 車で約10分)
建 立 者：沖縄県
建 立 年：平成9年3月29日
連 絡 先：沖縄県 福祉保健部 福祉・援護課 098-866-2177 (直通)

碑 文

【表】

八重山戦争マラリア犠牲者
慰霊之塔

説 明 文

八重山戦争マラリア犠牲者
慰霊之塔

太平洋戦争の末期、沖縄県八重山地域においては軍の作戦展開の必要性から住民が悪性マラリアの有病地域である石垣島、西表島の山間部への避難を強いられ、過酷な生活の中で相次いでマラリアに罹患し、三千余名が終戦前後に無念の死を遂げるに至った。

国は、終戦から五十年を経た平成八年度に、これら犠牲者の御霊を慰めるため、沖縄県へ「八重山地域マラリア死没者慰籍事業」の助成を行った。この碑は同事業の一環として遺族等からなる「沖縄戦強制疎開マラリア犠牲者援護会」の協力を得て建立されたものであり、遺族がその思いを込めて御霊の名を小石に記し碑の中に納めてある。

この碑が八重山の戦争マラリア犠牲者の御霊を慰め、その悲惨さを後世に永く伝え、世界の恒久平和創造への礎となることを祈る。

平成九年三月二十九日
沖縄県知事 大田昌秀

協力 沖縄戦強制疎開マラリア
犠牲者援護会
会長 篠原 武夫
意匠 潮平 正道
揮毫 坂名城 泰雄

21 忘勿石の碑



※写真提供 竹富町

基本情報

所 在：西表島の南風見田の海岸
住 所：沖縄県竹富町西表島南風見田の浜
(民宿南風荘より 車で10分)
建 立 者：西表在波照間郷友会ほか関係者有志
建 立 年：平成4年8月15日
連 絡 先：民宿南風荘 0980-85-5356

碑 文

【表】

忘勿石 ハテルマ シキナ

説 明 文

忘勿石の碑

この一帯は歴史的な戦争マラリアの悲劇の霊境である。一九四五年四月、波照間の住民が軍命によってこの地に強制疎開させられ多くの人々が熱帯マラリアに罹患して、古里の島影を求めながら亡くなった。

その人々の苦悩はまことに筆舌に尽しがたいものがある。学童とともに疎開し、その学童たちの死を見守りながら、浜辺の岩に「忘勿石」と刻んだ識名信升先生の心情は察するに余りあり。

この碑が歴史を語り継ぎ、病没した人々の霊を慰め、平和創造への礎となることを祈り願う。

一九九二年八月
琉球大学名誉教授
高良鉄夫

平成25年度
全国の戦災の追悼施設・追悼式
九州・沖縄

発行日
平成25年11月30日

非売品

編集・発行
株式会社NHKグローバルメディアサービス
〒150-0047 東京都渋谷区神山町9-2
電 話 03-5454-3851
FAX 03-5454-2291

印刷
株式会社文英堂

製本
東群製本株式会社

本書の収容内容の無断転載、複写、引用等を禁じます。

